

関西医科大学 広報



看護学部棟南に「さくらテラス」が整備されました

さくらテラス中央のブロンズ像
「受け取ってほしいこの手紙を」

Vol.66

CONTENTS

トピックス：「さくらテラス」オープン
記念式典

P.2

トピックス：イタリア・日本共同国際シン
ポジウム

P.3

トピックス：トリノ工科大学とのダブル
ディグリー協定書調印式

P.3

大学：3学部合同新入生合宿研修

P.9

大学：令和6年度科学研究費助成事業交
付内定者一覧他

P.12

病院：附属病院に「hinotori」導入

P.27



就任挨拶

医学部眼科学講座主任教授 今井 尚徳



令和6年5月1日付で、関西医科大学医学部眼科学講座主任教授を拝命いたしました。平成13年に神戸大学医学部を卒業後、同学眼科関連病院での眼科研修を経て、平成26年からは同学にて網膜硝子体手術を中心に、臨床、研究、教育に力を注いでまいりました。臨床面においては、小切開硝子体手術や3D手術を早期に導入し、良好な治療成績をもって地域医療に貢献してまいりました。本学への就任後も、最先端デバイスを積極的に導入し、良好な視機能獲得に努め、当科のプレゼンス向上を目指す所存です。研究面においては、積極的なリバーstransレーショナルリサーチを意識し、難治性糖尿病黄斑浮腫に対する新規手術の開発と病態解明に取り組んでまいりました。また、3D手術などデジタル手術も活用し、安全な手術術式の開発にも努めております。急激なテクノロジーの進歩が医療業界に大きく影響を及ぼ

している現代ですが、“温故知新”を忘れず、最先端医療を心がけ、時代をリードするつもりで本学眼科を牽引してまいります。一方、テクノロジーの進歩に伴うデバイスの進化は、「科学しない医師」を生む恐れもあります。教育面においては、テクノロジーに振り回されず、むしろ使いこなし、「医療を、手術を科学する」をモットーに後進育成に取り組みます。これらの取り組みを通じて、微力ながら本学の発展に寄与したいと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

略歴

平成13年 神戸大学医学部医学科卒業
 平成13年 兵庫県立尼崎病院 眼科研修医
 平成15年 神戸大学大学院医学研究科外科系講座眼科学 大学院生
 平成19年 米国ペンシルバニア州立大学医学部 眼科・細胞分子生理学教室 室博士研究員
 平成21年 神戸大学医学部附属病院 眼科助教
 平成22年 神戸海星病院 眼科医長
 平成26年 神戸海星病院 眼科部長
 平成26年 神戸大学医学部附属病院 眼科助教
 平成30年 神戸大学医学部附属病院 眼科講師
 令和6年 関西医科大学 医学部眼科学講座主任教授

総合医療センター下部消化管外科理事長特命教授 福長 洋介



令和6年7月1日付で関西医科大学学理事長特命教授を拝命いたしました。私は昭和62年に大阪市立大学（現大阪公立大学）を卒業後、研修医、大学院、その後の英国での留学を経て大阪市立総合医療センターに赴任、その後は専ら臨床および臨床研究に携わってまいりました。1990年代からの腹腔鏡下手術の本邦での黎明期から大腸領域の同手術にかかわり、これまでに3,000例を超える大腸癌手術を行ってきております。前任地のがん研有明病院においても、平成22年の赴任以来同手術手技を発展させることに従事し、腹腔鏡による低侵襲性のみならず、骨盤内臓全摘術や直腸癌側方郭清術などの拡大手術においても、その拡大視効果を最大限に利用することで、短期成績、長期成績共に開腹手術と同等の結果をあげてきました。また近年注目されるロボット支援下手術に関しても、平成30年の直腸癌に対する保険収載以来、積極的に携わってきました。さらに、進行下部直腸癌に対する術前化学放射線療法や全身化学療法を組み合わせ

る集学的治療が進む中、経験の少ない本邦においては全国に先駆けてこれを行い、場合によっては手術を回避する治療法（Watch and Wait療法）も早期に導入しました。

今後は、学生教育にも力を注ぐとともに、働きやすい職場環境を構築し、年々減少傾向といわれる若手外科医に外科の魅力を示しながらリクルートし、さらなる関西医科大学外科および総合医療センターの発展に努めたいと考えております。今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。

略歴

昭和62年3月 大阪市立大学医学部卒業
 昭和62年6月 大阪市立大学附属病院研修医（第2外科入局）
 平成元年4月 大阪市立大学大学院医学研究科外科系第2講座入学
 平成5年4月 マンチェスター大学ホープ病院リサーチフェロー
 平成6年4月 大阪市立総合医療センター消化器外科 研究医
 平成15年4月 大阪市立総合医療センター消化器外科 副部長
 平成20年4月 大阪市立十三市民病院外科 副部長
 平成21年4月 社会福祉法人生長会 バルランド総合病院内視鏡外科 部長
 平成22年4月 がん研有明病院消化器外科 医長
 平成30年7月 がん研有明病院 消化器センター長
 令和元年8月 がん研有明病院 大腸外科部長
 令和6年7月 関西医科大学総合医療センター下部消化管外科 理事長特命教授

香里病院眼科理事長特任教授 緒方 奈保子



令和6年6月1日付で関西医科大学
理事長特任教授を拝命いたしました。

昭和58年に本学を卒業、眼科に入
局し研修、大学院に進学し修了後は
関西医科大学眼科で臨床、研究、教
育に携わってきました。

平成22年に奈良県立医科大学眼科主任教授として赴任
して以来、ほぼ14年ぶりに母校に戻るようになりました。
網膜硝子体疾患(糖尿病網膜症、加齢黄斑変性など)を専
門とし診療、手術および教育、研究を行ってまいりました。

外界からの情報の8割は目から得られるとされていま
す。いま超高齢社会が大きな問題となっていますが、視
機能の低下は運転免許が更新できないだけでなく、認知
症、うつ、転倒や歩行障害など高齢者の生活や社会活動
に直接影響することを疫学調査で明らかにしてきました。
さらに白内障手術を行うことで認知機能低下を防ぎ、う

つ、生体リズムの改善、血圧、動脈硬化予防、睡眠が改善
するなど眼の全身に及ぼす重要性を示してきました。いま
までの経験を活かし、患者さんの大事な眼を守り健康
を維持できるよう、医療を提供していきたいと思えます。

母校である関西医科大学の更なる発展にむけて、皆様
とともに歩んでいきたいと存じます。今後ともご指導ご
鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

略 歴

昭和58年	関西医科大学卒業
昭和58年	関西医科大学眼科学研修医
昭和59年	関西医科大学大学院博士課程入学
昭和63年	関西医科大学大学院博士課程単位修得
昭和63年	関西医科大学眼科学 助手
平成3年	University of South Florida臨床免疫学教室 Research Associate
平成5年	関西医科大学眼科学 助手
平成6年	関西医科大学眼科学 講師
平成15年	関西医科大学眼科学 助教授
平成19年	関西医科大学眼科学 准教授
平成22年	奈良県立医科大学眼科学 主任教授
令和6年	関西医科大学香里病院眼科 理事長特任教授

「さくらテラス」オープン記念式典

6月14日(金) 14時から、さくらテラスオープン記念式典
が開催されました。さくらテラスは、学生の憩いの場とな
るよう、看護学部棟の中庭に整備されたものです。大きな
枝垂桜を始めとした桜の木が多く植えられたことにちな
み「さくらテラス」と名付けられました。

式典には山下敏夫理事長、木梨達雄学長、澤田敏副理事
長、看護学部加藤令子学部長、神崎秀陽常務理事ほか教職

員らが参加。テラス中央に設置されたブロンズ像の制作
者である日本芸術院会員の宮瀬富之氏を来賓として迎え、
加藤学部長の挨拶ののち、テープカットが行われました。

看護学部教職員らも参加し、その後はブロンズ像やテ
ラスを背景に記念撮影が行われ、式典は和やかな雰囲気
のうちに閉式しました。



さくらテラス全景

設置されたブロンズ像
作品名「受け取ってほしい
この手紙を」テープカットを行う
山下理事長(中央)ら

イタリア・日本共同国際シンポジウム

6月21日(金)、枚方キャンパス関医タワーおよび医学部棟加多乃講堂において、イタリア・日本共同国際シンポジウムが開催されました。これは在大阪イタリア領事館(在大阪イタリア総領事Marco PRENCIPE)と本学が主催し、トリノ工科大学との連携のもと開催したもので、2025年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博2025」)を見据え、人類と医療のためのロボティクスをテーマとして実施しました。ヘルスケアの分野におけるロボット工学の広がりとその多大な可能性について日伊の知見と最新の研究を共有する機会を提供するこのシンポジウムに、国内のみならず海外からも総勢150名を超える参加者が集い活発な意見交換が行われました。

9時30分、国際化推進センター長友田幸一名誉学長の歓迎挨拶により、ロボティクスおよび医療関係企業によるモーニングセッションが開幕しました。

その後、13時から、Giuseppe PEZZOTTI客員教授に

よる司会の下、H.E. Gianluigi BENEDETTI駐日イタリア大使、木梨達雄学長、トリノ工科大学 Alberto SAPORA 副学長、トリノ工科大学 Stefano Paolo CORGNATI 学長(ビデオ出演)による開会挨拶が行われました。

続いて、トリノ工科大学 Giuseppe QUAGLIA 教授他3名による基調講演が行われ、講演後にはMarco PRENCIPE 在大阪イタリア総領事が閉会挨拶を述べました。

さらに「ヘルスケア、リハビリテーション、障がい、高齢社会のためのロボット技術」と「人類と医療分野へのサービスロボティクスの挑戦的応用」の2件をテーマにシンポジウムが行われ、本学からは医学部リハビリテーション医学講座長谷公隆教授、同小児科学講座石崎優子診療教授らがシンポジストとして参加する中、ヘルスケアやロボット工学の分野における最新の知見が紹介されました。その後は医学部棟4階カフェテラスで懇親会が行われ、お互いに友好を深めていました。



木梨学長による開会挨拶



H.E.BENEDETTI駐日イタリア大使(前列中央)、PRENCIPE在大阪イタリア総領事(左から2人目)、木梨学長(右から2人目)、友田名誉学長(右)SAPORA副学長(左)とシンポジウム参加者

トリノ工科大学(イタリア)とのダブルディグリー協定書調印式

5月6日(月)現地時間10時30分からCastello del Valentino(イタリア・トリノ)でトリノ工科大学(イタリア)と、本学との間でダブルディグリー協定書の調印式を行いました。トリノ工科大学と本学は昨年4月から学術交流協定を締結しており、今回のダブルディグリーのプログラムは、両大学の博士課程の学生が在学中に1年程度、相手の大学に留学して研究を行った上で学位論文を執筆し、審査に合格した場合は両方の大学の学位が授与されるというものです。

木梨達雄学長はトリノ工科大学 Stefano Paolo Corgnati 学長とともに現地で調印式に参加し、協定書にサインしました。また、この調印式には本学からは国際化推進センター長友田幸一名誉学長、大学院医学研究科人見浩史教務部長も参加しました。

7日(火)には同9時30分から、両大学の共同研究に向けたラウンドテーブルが行われました。これには現地訪

問した3名に加え、日本からオンラインで医学部薬理学講座中邨智之教授、同微生物学講座大隈和教授、附属生命医学研究所ゲノム解析部門日笠幸一郎研究所教授も出席しました。



調印式に参加した木梨学長(右)と友田名誉学長(中央左)

令和5年度事業報告

本学の令和5年度事業報告をとりまとめ、公表しました。主な内容は以下の通りです。

今後は、附属病院別館建設、総合医療センター西館建設などを踏まえ、さらなる教育・研究・診療の充実をめざします。

法人

● 附属病院別館建設計画

再設計と事業スケジュールの再構築を確定した。

● 総合医療センター西館建設計画

基本構想の取りまとめを完了した。

● スマート病院構想

各附属病院における新しいIT技術やAIの導入による抜本的な病院機能改革について検討を進めた。

● 医療経営強化

新作業部会を設置し検討を進め、附属病院では46床の増床、くずは病院では手術室の増設が遅滞なく進み、年度内に運用が開始された。

教育

■ 医学部・医学研究科

● 新医学教育改革2023

教員の意識改革、教育方法の見直し、留年学生数の減少、医師国家試験合格率の向上を目指し、改革を推進した。

● 国際大学院

国際大学院において、第2期生6名が入学した。

■ 看護学部・看護学研究科

● 教育手法、研究、管理運営等の観点からFD活動を推進した。

● 国家試験合格率

国家試験においては「看護師」97.8%（91名/93名）、「保健師」98.9%（92名/93名）の合格率となった。

■ リハビリテーション学部

● 開設3年目を迎え、専門科目、地域リハビリテーション実習等臨床実習が本格的に始まった。

研究

● 附属光免疫医学研究所

「腫瘍病理学部門」が本格的に稼働し、研究所としての体制が整った。

● 科研費獲得額

科研費の採択件数は237件、採択額は4億円を超過した。

診療

■ 附属病院

● 医療機器の更新

サージカルロボットシステムの追加、3D内視鏡システムの導入、人工心肺装置の更新などを行い、大学病院としての機能の維持向上に努めた。

● 救急医療の充実

「断らない病院」の実現を掲げ、救急患者の受入れに努め、救急搬送は年間4,700件を超え、前年度を上回る水準を達成した。

■ 総合医療センター

● 収支予算の達成

新型コロナ対応を行いながら、収支予算を達成した。

■ 香里病院

● 病院機能評価受審に向けた取り組み

日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審した結果、令和6年6月には認定病院となる見込みである。

■ くずは病院

● 手術室の増室

急性期ケアミックス型病院としての機能強化のため、手術室を2室に増室した。

■ 天満橋総合クリニック

● 収支予算の達成

外来部門が順調に推移し、収支予算を達成した。

■ くずは駅中健康・健診センター

● 予防医療関連施設との連携

天満橋総合クリニック、健康科学センターと連携し、予防医療ネットワークを構築し、予防医療の質の向上、人間ドック健診専門医の育成等を行った。

以 上

令和5年度・令和6年度の内部監査

内部監査室長 稲垣千代子

令和5年度内部監査を下記の項目で実施し、その報告及び令和6年度内部監査計画を理事長に提出して承認されました。
本年度の内部監査も本学の業務が合法的且つ合理的・効率的に遂行されることを目指して評価し、本学の発展に資する助言ができるよう努めます。

1、令和5年度内部監査

以下の項目について点検・調査し、問題点の改善に向けて助言しました。

①年次監査

- 1)「公的研究費の管理状況(令和4年度対象)」
- 2)「学術研究活動」

②本学内部監査規程第8条(品質管理)による内部監査業務の内部評価

担当：総務部

2、令和6年度内部監査計画(年次監査)

- 1) 監査項目：「公的研究費の管理状況(令和5年度対象)」

監査対象部門：研究部研究課及び関連部門

監査日程：令和6年6月～7月

選定理由：「公的研究費の管理・監査体制に関する規程」第36条に定める内部監査

2) 監査項目：「災害対応体制」

監査対象部門：法人全部署

監査日程：令和6年9月～10月

選定理由：事業継続計画(BCP)整備状況を中心とする災害対応体制の点検

3) 監査項目：「感染症対策」

監査対象部門：法人全部署

監査日程：令和6年12月～令和7年1月

選定理由：COVID-19対応経過を参考に次期パンデミックに備える体制整備

以上

「施設設備整備拡充事業資金」の募集のご案内

令和5年度募金実績報告

昨年度も皆様より温かいご支援を賜りました。
学生の教育・研究活動を充実させる施設設備整備拡充事業に充当させていただきました。
改めて厚く御礼申し上げます。

	件数	金額(円)
同窓生	4	1,300,000
保護者	37	19,800,000
関連業者	1	500,000
その他	1	10,000,000
	43	31,600,000

令和6年度募集要項

募金の目的：関西医科大学施設設備整備拡充事業資金
募集主体：学校法人関西医科大学
募集対象：保護者、同窓会員、本学関連の個人及び法人、その他

所得税が最大40%減額されます

詳細は募金室ホームページをご覧ください。募金室までお問い合わせください。

なお、この募金の応募は任意です。

関西医科大学法人事務局募金室
〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号
TEL：072-804-2146 FAX：072-804-2344
メール：bokin@hirakata.kmu.ac.jp
HP：<https://www.kmu.ac.jp/donation/index.html>

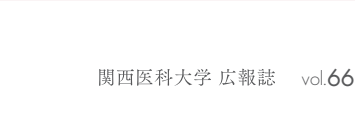
令和6年4月から令和6年6月までにご寄付いただきました方々のご芳名(五十音順)を掲載させていただきます。
ご芳志に対して衷心より感謝申し上げます。

ご芳名のwebサイトでの掲載は控えさせていただきます。

本学の未来のため、学生の学びのために、皆様のご協力をお願い申し上げます。



今号掲載期間の主な出来事をご紹介します (記事掲載はオレンジ太字)

法人	6月13日	業務改善コンテスト(法人・大学部門)	
	6月19日	名誉教授称号授与式	
大学	4月18・19日	3学部合同新入生合宿研修	
	4月20・21日	高齢者こころとからだの健康チェック2024	
	4月21日	看護学部オープンキャンパス	
	4月24日	3学部合同授業実施(1学年・1年次)	
	4月24日	令和6年度課題川柳表彰式	
	4月26日	3学部合同授業実施(4学年・4年次)	
	4月28日	リハビリテーション学部オープンキャンパス	
	5月6日	トリノ工科大学とのダブルディグリー協定書調印式	
	5月15日	第94回解剖体追悼法要、遺骨返還式	
	5月30日	看護学部学生・看護職交流ガイダンス	
	6月14日	「さくらテラス」オープン記念式典	
	6月16日	リハビリテーション学部オープンキャンパス	
	6月19日	枚方キャンパス防火・防災訓練	
	6月21日	イタリア・日本共同国際シンポジウム	
	6月24日	看護学部進路ガイダンス	
附属病院	4月23日	業務改善コンテスト表彰	
	5月24日	食道がん患者会「藤見の会」	
	6月24日	春季消防訓練	
総合医療センター	4月30日	DMAT感謝状受領	
	6月12日	がん教育講演会	
香里病院	5月18日	市民公開講座	
卒後臨床研修センター	5月18日	令和7年度採用専門研修プログラム説明会	
	5月18日	令和7年度採用医学生対象説明会「研修医と語ろう会」	
	5月26日	レジナビフェア2024大阪	
看護キャリア開発センター	5月25日	新任看護管理者研修	
	6月8日	看護副師長研修	
	6月29日	リカレントスクール修了生の集い	

トリノ工科大学とのダブルディグリー協定書調印式

看護学部学生・看護職交流ガイダンス

看護学部進路ガイダンス

業務改善コンテスト表彰

DMAT感謝状受領

THEインパクトランキング2024にランクイン

6月13日(木)、英国の教育専門誌「タイムズ・ハイアー・エデュケーション(THE)」が実施・集計したTHEインパクトランキング2024が発表されました。

その結果、本学は「SDGs 3(保健)」で91位を記録した他、「SDGs 9(産業と技術革新)」で601-800位にランクインしました。

このランキングは、気候変動に対する活動やジェンダーの平等、健康と福祉など、大学がもたらす社会的・経済的インパクトの尺度を国連のSDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)が掲げる17の目標(ゴール)に合わせて設計されたものです。

総合ランキングに参加する場合は「SDGs17(実施手段)」が必要項目で、これに加えて3つ以上のSDGsについてデータを提出し、「SDGs17」以外でスコアの高い3つがランキングに反映されています。

令和7年度医学部入学試験概要

医

試験実施日程								
	特別枠 学校推薦型 選抜試験 (専願制)	一般枠 学校推薦型 選抜試験 (併願制)	特色 選抜試験 (併願制)	一般選抜試験 (前期)	大学入学 共通テスト ・ 一般選抜試験 併用試験	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (前期)	一般選抜試験 (後期)	大学入学 共通テスト 利用選抜試験 (後期)
募集人員	10名	8名	5名	55名	13名	12名	5名	2名
出願期間 (当日消印有効)	令和6年11月1日(金) } 令和6年11月11日(月)			令和6年12月11日(水) } 令和7年1月11日(土)			令和7年2月1日(土) } 令和7年2月15日(土)	
第1次 試験日	令和6年 11月23日(土・祝)			令和7年 1月25日(土)	令和7年 1月18日(土) 19日(日) 25日(土)	令和7年 1月18日(土) 19日(日)	令和7年 3月1日(土)	令和7年 1月18日(土) 19日(日)
第1次 合格者発表	令和6年 11月27日(水)			令和7年 2月4日(火)	令和7年 2月7日(金)		令和7年 3月7日(金)	
第2次 試験日	令和6年 11月30日(土)			令和7年 2月8日(土)	令和7年 2月15日(土)		令和7年 3月11日(火)	
第2次 合格者発表	令和6年 12月5日(木)			令和7年 2月14日(金)	令和7年 2月21日(金)		令和7年 3月14日(金)	
手続完了 期限	令和6年 12月13日(金)			令和7年 3月3日(月)			令和7年 3月24日(月)	

別途地域枠15名(大阪府5名、静岡県8名、新潟県2名)・研究医枠3名を、臨時定員増設置構想中。

令和7年度看護学部入学試験概要

看

試験実施日程							
	学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験		
	専願制	併願制	2教科型	3教科型	2教科型	3教科型	5教科型
募集人員	42名		50名		8名		
	36名 指定校制含む	6名	15名	35名	3名	3名	2名
出願期間 (当日消印有効)	令和6年11月1日(金) } 令和6年11月8日(金)		令和6年12月16日(月) } 令和7年1月20日(月)		令和6年12月16日(月) } 令和7年1月16日(木)		令和6年12月16日(月) } 令和7年1月24日(金)
試験日	令和6年11月24日(日)		令和7年1月31日(金)		令和7年1月18日(土)・19日(日)		
合格者発表	令和6年12月2日(月)		令和7年2月13日(木)		令和7年2月13日(木)		
手続完了 期限	令和6年12月11日(水)		令和7年2月25日(火)		令和7年2月25日(火)		

令和7年度リハビリテーション学部入学試験概要

リ

試験実施日程

		総合型選抜試験	学校推薦型選抜試験		一般選抜試験		大学入学共通テスト利用選抜試験	
			専願制	併願制	2教科型プラス	3教科型	2教科型	4教科型
募集 人員	理学療法学科	10名	20名	8名	4名	14名	2名	2名
	作業療法学科	8名	12名	6名	2名	10名	2名	—
出願期間 (当日消印有効)		令和6年9月17日(火) } 令和6年9月27日(金)	令和6年11月1日(金) } 令和6年11月8日(金)		令和6年12月16日(月) } 令和7年1月20日(月)		令和6年12月16日(月) } 令和7年1月24日(金)	
試験日		A日程 令和6年10月12日(土) B日程 令和6年10月19日(土)	令和6年11月24日(日)		令和7年1月31日(金)		令和7年 1月18日(土)・19日(日)	
合格者発表		令和6年11月1日(金)	令和6年12月2日(月)		令和7年2月13日(木)			
手続完了期限		令和6年11月11日(月)	令和6年12月11日(水)		令和7年2月25日(火)			

令和7年度大学院医学研究科学生募集要項（修士・博士課程）

医

- 募集人員 医科学専攻修士課程8名・医学専攻博士課程50名
※第一次募集で定員に達した場合は、追加募集は実施いたしません。

■試験概要

	医科学専攻修士課程		医学専攻博士課程	
	第一次募集	追加募集	第一次募集	追加募集
入学願書 受付期間	令和6年7月8日(月)～ 令和6年8月2日(金) 【当日消印有効】	令和6年10月15日(火)～ 令和6年11月22日(金) 【当日消印有効】	令和6年10月15日(火)～ 令和6年11月22日(金) 【当日消印有効】	令和6年12月16日(月)～ 令和7年1月22日(水) 【当日消印有効】
試験期日	令和6年8月17日(土)	令和6年12月7日(土)	令和6年12月7日(土)	令和7年2月1日(土)
合格発表	令和6年9月11日(水) 正午	令和7年1月15日(水) 正午	令和7年1月15日(水) 正午	令和7年2月20日(木) 正午

※出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。

出願書類等、入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(https://www.kmu.ac.jp/juk/fom_graduate/)をご覧ください。

令和7年度大学院看護学研究科学生募集要項（博士前期・博士後期課程）

看

- 募集人員 看護学専攻博士前期課程20名・看護学専攻博士後期課程5名（夏期冬期合計）
※夏期日程で定員に達した場合は、冬期日程は実施いたしません。

■試験概要

	看護学専攻博士前期課程		看護学専攻博士後期課程	
	夏期	冬期	夏期	冬期
出願期間	令和6年7月26日(金)～ 令和6年8月9日(金) 【必着】	令和6年11月1日(金)～ 令和6年11月15日(金) 【必着】	令和6年7月26日(金)～ 令和6年8月9日(金) 【必着】	令和6年11月1日(金)～ 令和6年11月15日(金) 【必着】
試験期日	令和6年8月25日(日)	令和6年12月1日(日)	令和6年8月25日(日)	令和6年12月1日(日)
合格発表	令和6年8月30日(金) 正午	令和6年12月6日(金) 正午	令和6年8月30日(金) 正午	令和6年12月6日(金) 正午

※出願するコース及び出願資格によっては、事前の出願資格審査が必要な場合があります。

入学試験に関する詳細は、本学ホームページ(https://www.kmu.ac.jp/juk/fon_graduate/)をご覧ください。

第94回解剖体追悼法要、遺骨返還式

5月15日(水) 10時から臨済宗建仁寺派大本山建仁寺(京都市東山区)において第94回解剖体追悼法要が営まれました。関西医科大学白菊会役員、木梨達雄学長、金子一成副学長・医学部長をはじめとする教職員、本学医学部3学年学生が参列し、施主代表の木梨学長が追悼の言葉を述べました。続いて僧侶による読経の後、参列者による焼香が行われました。

その後、11時から同所で遺骨返還式を挙行。医学の発展に寄与するため篤志によりご献体くださった故人のご遺族の方々へ木梨学長より遺骨の返還が行われました。



合掌する木梨学長

3学部合同新入生合宿研修

4月18日(木)・19日(金)、スターゲイトホテル関西エアポート(泉佐野市)において1泊2日の日程で医学部、看護学部、リハビリテーション学部新入生の合宿研修が実施されました。

3学部合同での合宿研修は初開催で、医学部学生部谷川昇部長の開講宣言により幕を開けました。1日目は、外部講師を招いた合同研修や各学部に分かれてのグループワーク、教育センター西屋克己センター長による講義が行われました。グループワークは、各学部に分かれたそれぞれのテーマについてプレゼンテーションを行うという内容で、学生らは普段とは異なる環境に緊張していた様子でしたが、徐々に打ち解けて、最後には活発に意見交換を行っていました。3学部の学生が同じテーブルを囲んで夕食をとった後、各グループが思い思いのプレゼンテーションを披露し、1日目は終了しました。2日目は、3学部合同でレクリエーションが行われ、親睦を深めました。



合宿研修で講義を行う西屋センター長



3学部の学生が同じテーブルを囲む夕食

また合宿研修中に課された「関西医科大学で過ごす六年間または四年間についての意気込み」を川柳で表すという個人課題について、4月24日(水) 15時から枚方市総合文化芸術センター関西医大大ホールにおいて「令和6年度課題川柳表彰式」が執り行われ、木梨達雄学長から受賞者に表彰状が贈られました。



課題川柳表彰式の様子

【医 学 部】	(最優秀賞)	須見 充統 さん	「本試験 長期休みは 確保する」
	(優秀賞)	前川諒太郎 さん	「相部屋で 泊まる他人は 先の友」
【看護学部】	(最優秀賞)	小松 莉緒 さん	「4年後は 白衣身に付け 桜見る」
	(優秀賞)	安中 新 さん	「学びを得 人に寄り添う 看護師に」
【リハビリテーション学部】	(最優秀賞)	西村 文里 さん	「走り出す まだ見ぬ未来の 誰かのために」
	(優秀賞)	本村 優衣 さん	「2年間 待ち焦がれた はじまりの時」

合同授業（多職種連携教育）

4月24日（水）14時から、枚方市総合文化芸術センター関西医大大ホールにおいて、医学部、看護学部、リハビリテーション学部の1学年（1年次）学生を対象とした3学部合同授業が行われました。第一部では木梨達雄学長による講義が、第二部では医学部金子一成学部長、看護学部加藤令子学部長、リハビリテーション学部飯田寛和学部長による講義がそれぞれ行われ、新入生たちは熱心に聴講していました。

また、4月26日（金）9時30分から、医学部、看護学部、リハビリテーション学部の4学年（4年次）に加え、摂南大学薬学部6学年と合同授業を実施しました。枚方キャンパス医学部棟2階第2、4講義室、看護学部棟3階講義室2、3、牧野キャンパスリハビリテーション学部棟2階大講義室1、講義室1の各会場に、医学部127名、看護学部89名、リハビリテーション学部60名、摂南大学薬学部20名、合わせて296名の学生が参加。救急搬送、

診察・検査、入院中、退院後のケアの各場面について、医師・看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師の各専門的知識を修得した観点で議論を行い、チーム医療への理解を深めました。



課題に取り組む4学部の学生たち

慈仁会役員・看護学部保護者会役員・リハビリテーション学部保護者会役員について

4月5日（金）15時から枚方市総合文化芸術センター関西医大小ホールにおいて「令和6年度慈仁会定期総会」が、6月15日（土）11時から枚方キャンパス看護学部棟3階講義室2において「令和6年度関西医科大学看護学部保護者会総会」が、6月1日（土）11時から牧野キャンパスリハビリテーション学部棟2階大講義室1において「令和6年度関西医科大学リハビリテーション学部保護者会総会」がそれぞれ開催されました。本年度の各学部保護者会役員は以下の方々です。

慈仁会役員

- | | | | |
|-------------|-------------|------------|-------------|
| ●委員長 垂水 律隆 | ●会計委員 月川 裕恵 | ●常任委員 道浦 拓 | ●常任委員 藤吉 庸雅 |
| ●常任委員 中村 裕子 | ●常任委員 傍島 聰 | ●委員 花澤 隆博 | ●委員 満倉久美子 |
| ●委員 中村 佳照 | ●委員 津田 照 | ●委員 田中章太郎 | ●委員 末藤 充男 |
| ●委員 阪本 憲彦 | ●監事 永末 純子 | ●監事 畑 洋 | |

看護学部保護者会役員

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ●会長 矢寺 路代 | ●理事 角田 美樹 | ●理事 森 祐佳 | ●理事 青木 美貴 |
| ●理事 上田 万喜 | ●理事 澤邊 恵理 | ●理事 中川 靖子 | ●理事 野間 映美 |
| ●理事 山田 志穂 | ●会計 角田加依子 | ●監事 藍原 雅代 | ●監事 繁野 恵 |

リハビリテーション学部保護者会役員

- | | | | |
|------------|-------------|-----------|-----------|
| ●委員長 串田 信彦 | ●委員 木村 和男 | ●委員 原田 義広 | ●委員 眞野 浩 |
| ●委員 六車 樹里 | ●委員 木原智枝子 | ●委員 戸谷 貴美 | ●委員 丸本 桂子 |
| ●委員 柳田八重子 | ●会計委員 松森 恵理 | ●監事 河本真由美 | ●監事 百瀬 嘉洋 |

名誉教授称号授与式

医学部衛生・公衆衛生学講座西山利正前教授、同精神神経科学講座木下利彦前教授、同脳神経外科学講座浅井昭雄前教授、同眼科学講座高橋寛二前教授へ、それぞれ名誉教授の称号が授与されました。6月19日(水)に枚方キャンパス医学部棟13階応接室において、名誉教授称号授与式が執り行われ、木梨達雄学長から名誉教授称号が西山前教授、浅井前教授にそれぞれ授与されました。

※木下前教授、高橋前教授は所用によりご欠席



浅井名誉教授(左)、木梨学長(中)、西山名誉教授(右)

防火・防災訓練

6月19日(水) 14時から枚方キャンパス医学部棟4階中会議室および医学部棟正面玄関前において、事務職員対象の防火・防災訓練が実施されました。参加者は、中会議室で防災・消防ガイダンスの映像資料を視聴した後、正面玄関前へ移動し、水消火器による消火訓練を実施。災害時の対応に対する意識を高めました。



消火訓練を行う職員ら

「高齢者こころとからだの健康チェック2024」

4月20日(土)・21日(日)の2日間、リハビリテーション学部では、医学部衛生・公衆衛生学講座甲田勝康教授および附属病院健康科学センター木村穰センター長の協力のもと、地域住民を対象とした『高齢者こころとからだの健康チェック2024』を実施しました。3回目となる今回、2日間で計142名が参加しました。

参加者は、握力や特定条件下での歩く速度など、自身の様々なデータを測定したり認知機能検査を受けたりした後、結果をもとにフィードバックを受けました。

また今年もリハビリテーション学部生が多数スタッフとして参加し、参加者の誘導や測定、運営に携わりました。学生スタッフからは「普段なかなか話す機会

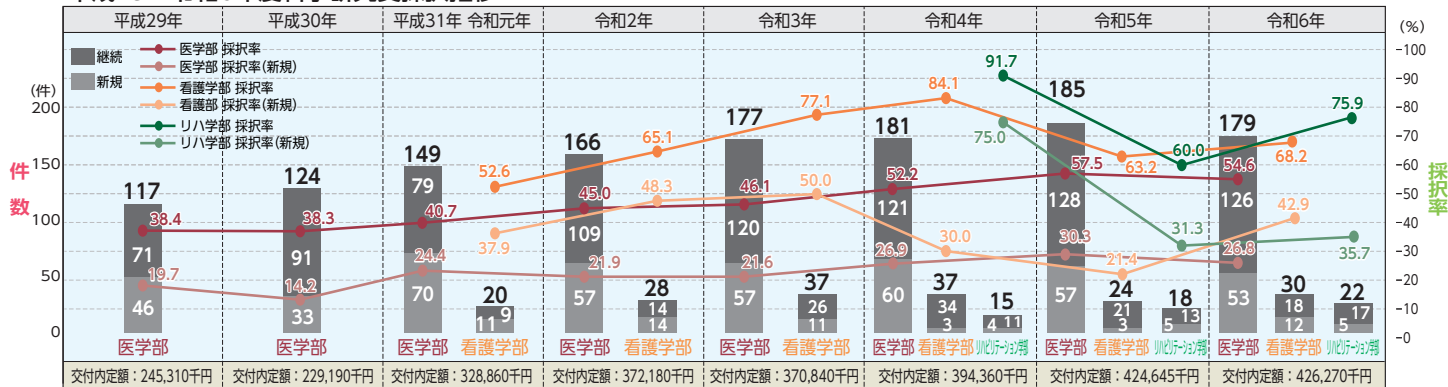
のない高齢の方と話す機会があってよかった」などの声が聞かれました。



アンケート回答の確認を行う学生スタッフ

令和6年度科学研究費助成事業交付内定者一覽他

平成29～令和6年度科学研究費採択推移



文部科学省・日本学術振興会関係

令和6年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額（直接経費）	交付内定額（間接経費）	交付内定額（合計）
学術変革領域研究（Ａ）	3	12,000,000	3,600,000	15,600,000
学術変革領域研究（Ｂ）	1	12,400,000	3,720,000	16,120,000
合 計	4	24,400,000	7,320,000	31,720,000

(単位：円)

令和6年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)交付内定額(代表者分)一覽

研究種目等	内定件数	交付内定額（直接経費）	交付内定額（間接経費）	交付内定額（合計）
基盤研究（Ｂ）	24	89,600,000	26,880,000	116,480,000
基盤研究（Ｃ）	147	147,200,000	44,160,000	191,360,000
若手研究	47	46,600,000	13,980,000	60,580,000
挑戦的研究（開拓）	1	7,000,000	2,100,000	9,100,000
挑戦的研究（萌芽）	4	7,500,000	2,250,000	9,750,000
研究活動スタート支援	3	2,100,000	630,000	2,730,000
国際共同研究強化（Ｂ）	1	2,700,000	810,000	3,510,000
合 計	227	302,700,000	90,810,000	393,510,000

(単位：円)

令和6年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)交付内定者(代表者)一覽(文部科学省)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
学術変革領域研究(B) 継続	生理学講座	石井 宏憲	助 教	サルのコントラリアン意思決定の行動・神経基盤解明	12,400,000	3,720,000
学術変革領域研究(A) (公募型) 継続	薬理学講座	中邨 智之	教 授	細胞外マトリックスの組み立てと作り分けの分子機構	4,900,000	1,470,000
	生理学講座	安田 正治	講 師	認知・身体の複合的情動に基づく質感の神経機構の解明	3,000,000	900,000
学術変革領域研究(A) (公募型) 新規	侵襲反応制御部門	松田 烈士	研究員	低代謝状態を誘導するグリアー神経インタラクションの解明	4,100,000	1,230,000

(単位：円)



令和6年度科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金) 交付内定者(代表者) 一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(B) 新規	衛生・公衆衛生学講座	中村 晴信	非常勤務 講師	行動変容を目指した小・中学生向けのヘルスリテラシー形成プログラムの開発と効果検証	2,700,000	810,000
	神経機能部門	小早川 令子	教 授	先天的恐怖刺激が誘導する神経保護作用の解明	5,000,000	1,500,000
	医化学講座	寿野 良二	准教授	睡眠覚醒を制御するオレキシン受容体シグナル伝達機構の全貌解明と選択的薬剤開発	4,400,000	1,320,000
	医化学講座	小林 拓也	教 授	GPCRとシグナル伝達分子複合体の立体構造に基づくシグナル選択的制御法の開発	2,600,000	780,000
	免疫部門	石亀 晴道	准教授	腸管末梢神経系を介した炎症応答制御機構の解明	6,400,000	1,920,000
	腫瘍病理学部門	近藤 英作	教 授	肺癌治療の革新に向けた新規DDS応用標的分子の解析と治療戦略への展開	5,000,000	1,500,000
	生理学講座	安田 正治	講 師	サル結合腕傍核、内臓感覚伝達系における情動の神経表現と機能解析	3,900,000	1,170,000
	基盤開発部門	花岡 宏史	教 授	核医学治療と光免疫療法を融合した革新的がん治療法の創生	6,400,000	1,920,000
	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	教 授	体脂肪と筋肉の比率や分布様式が臓器機能と生存期間に及ぼす影響についての疫学研究	3,300,000	990,000
	地域看護学領域	大川 聡子	教 授	10代父親・母親の逆境の小児期体験を緩和するPACEsに着目した育児支援プログラム開発	3,400,000	1,020,000
基盤研究(B) 継続	こども看護学領域	加藤 令子	教 授	障がい等のあるこどもが自然災害に備えるセルフケア獲得・定着を可能とするツール開発	1,900,000	570,000
	内科学第三講座	山敷 宣代	講 師	禁酒継続に向け医療者－患者双方向を支援するデジタルヘルス環境の構築	1,400,000	420,000
	ゲノム解析部門	日笠幸一郎	教 授	超精密個別化ゲノム解析法の開発による遺伝性疾患の病因病態解明	4,900,000	1,470,000
	－	木梨 達雄	学 長	インテグリンによる細胞相互作用の可塑性と堅牢性の生成メカニズムと生体機能の解明	3,900,000	1,170,000
	薬理学講座	中邨 智之	教 授	弾性線維の形成と再生の分子機構の解明	3,900,000	1,170,000
	医化学講座	片野 泰代	准教授	中枢神経系の可塑的变化を病態基盤とする慢性疼痛とうつ病の新規分子機序の解明	3,700,000	1,110,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	玉田 篤史	准教授	大脳皮質基底核変性症の疾患モデル構築と病態解明	3,900,000	1,170,000
	内科学第二講座	塩島 一朗	教 授	Wnt5a-Yap axisによる心筋細胞メカノトランスダクション制御機構の解明	3,200,000	960,000
	基礎看護学領域	山下 裕紀	准教授	脳卒中失語症者の社会性回復を目指したcommunicationの実装	2,700,000	810,000
	理学療法学科	野村 卓生	教 授	高齢糖尿病患者の身体的フレイル予防を目的とした予後予測に基づく介入戦略の構築	1,900,000	570,000
	理学療法学科	前澤 仁志	准教授	BMI、脳刺激法、AIを融合したテラーメイド型嚥下機能再建法とその神経基盤解明	2,100,000	630,000
	基礎看護学領域	鯨島 輝美	教 授	教育DX化にともなう技術教材の教育的意義・活用の開発を目指したアクション・リサーチ	4,300,000	1,290,000
	がん生物学部門	坂本 毅治	教 授	がん治療薬誘導性間質細胞老化の分子病態の解明と治療応用	4,500,000	1,350,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	助 教	ヒト造血幹細胞体外無限増幅システムの開発	4,200,000	1,260,000
	こども看護学領域	田中 雅美	助 教	親・医療者それぞれが考える13・18トリソミー児におけるQOLの解明	800,000	240,000
	微生物学講座	大高 時文	助 教	HTLV-1 感染モデルマウスを用いた腸内細菌投与によるATL発症予防法の開発	1,400,000	420,000
基盤研究(C) 新規	分子遺伝学部門	上岡 裕治	講 師	新しい「視点」からの白血球ローリングメカニズム解明	1,600,000	480,000
	がん生物学部門	赤松香奈子	研究員	ユビキチンリガーゼによる精子の透明帯接着能獲得機構の解明	1,400,000	420,000
	モデル動物部門	村山 正承	講 師	軟骨再生医療を見据えた、CTRP分子/PAQR受容体を軸とする軟骨代謝機構の解明	900,000	270,000
	微生物学講座	大隈 和	教 授	宿主細胞内侵入機構を応用したSARS-CoV-2薬剤耐性変異株に対する新規治療薬の開発	900,000	270,000
	衛生・公衆衛生学講座	保坂 直樹	研究員	Ex vivoでのCD8T細胞の誘導・増殖法の開発・免疫チェックポイント療法との増強と制御	900,000	270,000
	神経機能部門	林 勇一郎	講 師	広大な空間における海馬歯状回の情報表現	1,800,000	540,000
	心療内科学講座	蓮尾 英明	教 授	不眠障害に対する振動覚を用いた個人特有の在宅共鳴呼吸法の確立と機序の解明	1,800,000	540,000
	脳神経外科学講座	山村奈津美	助 教	グリオーマの浸潤を標的としたバイオマーカーの確立	1,400,000	420,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 新規	放射線科学講座	武川 英樹	助 教	放射線医療ドメイン特化型の大規模言語モデルの開発	1,500,000	450,000
	内科学第三講座	山口 隆志	講 師	細胞老化の蓄積解除から切り開く新規肝疾患治療法の基盤開発	1,900,000	570,000
	内科学第三講座	下田 慎治	教 授	オミックス解析・単一細胞解析情報を統合した原発性胆汁性胆管炎の新規治療戦略の樹立	1,400,000	420,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	山下 裕美	助 教	日本人嚢胞性線維症患者由来iPS細胞を用いた汎粘膜改善薬の探索	2,200,000	660,000
	小児外科学講座	中村 弘樹	准教授	ヒルシュスプルング病におけるパネート細胞による腸管免疫についての検証	1,600,000	480,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	白水 泰昌	講 師	ヒトiPS細胞由来肝幹細胞様細胞を用いた先天性代謝異常性肝疾患治療デバイスの作成	1,100,000	330,000
	肝臓外科学講座	松井 康輔	准教授	抗癌剤内包型フタロシアニン修飾リボソームを用いた治療抵抗性胆管癌に対する新規治療法開発	1,100,000	330,000
	胆膵外科学講座	中竹 利知	助 教	胆道がんに対するEphA2を標的とした抗体医薬の開発－光感受物質と核酸医薬の融合－	1,200,000	360,000
	胆膵外科学講座	山木 壮	講 師	NRF2/Keap1経路に着目した膵癌予後因子アディポフィリン発現機序の解明	1,300,000	390,000
	心臓血管外科学講座	岡田 隆之	准教授	精密医療実現に向けたゲノム・オミックス情報に基づく心大動脈疾患の分子病態研究	1,100,000	330,000
	呼吸器外科学講座	齊藤 朋人	講 師	糖鎖抗原MECA-79に着目した肺腺がん高悪性度化メカニズムの解明	1,200,000	360,000
	麻酔科学講座	吉田 敬之	講 師	Augmented Reality技術を応用した脊髄幹麻酔のための穿刺針ガイドシステムの開発研究	1,400,000	420,000
	胆膵外科学講座	柳田 英佐	研究員	iNOSを標的とした機能付加型核酸医薬による難治性敗血症の攻略	1,200,000	360,000
	胆膵外科学講座	北出 浩章	准教授	ヒト難治性敗血症に対するインターロイキン受容体の制御を標的とした核酸医薬の開発	1,200,000	360,000
	脳神経外科学講座	吉村 晋一	准教授	がん幹細胞を標的とした転移性脳腫瘍の治療薬の開発	1,000,000	300,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	教 授	二分脊椎症の責任遺伝子の同定	1,300,000	390,000
	腎泌尿器外科学講座	谷口 久哲	講 師	精液マイクロバイオーム解析に基づく膿精液症の実態解明と妊孕性に及ぼす影響の検討	700,000	210,000
	腎泌尿器外科学講座	滝澤 奈恵	講 師	疾患特異的iPS細胞を用いた褐色細胞腫・パラガングリオーマの転移・進展機構の解明	1,800,000	540,000
	産科学・婦人科学講座	村田 絃未	講 師	絨毛外栄養膜細胞の最適な脱落膜浸潤へと導く子宮内膜間質細胞の分子機構を解明する	1,300,000	390,000
	病理学講座	吉田 真子	講 師	味蕾形成機構の解明を基軸とした機能的味蕾誘導法の開発	1,100,000	330,000
	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	澤田 俊輔	准教授	ヒトiPS細胞由来唾液腺幹細胞を用いた再生治療におけるTherapeutic time windowの同定	1,200,000	360,000
	神経内科学講座	薬師寺祐介	教 授	日本人に多い1型脳小血管病の新規病態説明因子探索と重症化予測モデルの構築	1,000,000	300,000
	法医学講座	橋谷田真樹	准教授	混合試料解析を目的としたマイクロハプロタイプのバリデーションと専用ソフトの開発	1,400,000	420,000
	こども看護学領域	大橋 敦	教 授	聴覚を活用した学修支援ツールが看護学生の医学知識の定着に及ぼす効果	2,400,000	720,000
	看護学教育領域	上山千恵子	講 師	ピアエンバワメントを活用した潜在看護師の復職支援プログラムの構築	600,000	180,000
	クリティカルケア看護学領域	宮川 彩花	助 教	RRSを要請する看護師の急変認知力向上にむけた教育的介入の効果について	800,000	240,000
	精神看護学領域	吉田 麻美	助 教	暴力被害に遭った病院看護職のメンタルヘルス支援促進のためのツールの開発	800,000	240,000
	クリティカルケア看護学領域	谷水 名美	准教授	臓器提供に関わる看護師の倫理的苦悩の実態と倫理教育プログラムの開発	1,200,000	360,000
	母性(助産)看護学領域	川崙 有紀	講 師	妊娠糖尿病既往女性の糖尿病発症予防に向けた健康行動支援AIシステムの開発	600,000	180,000
	基礎看護学領域	山本加奈子	教 授	ラオス農村部におけるSNSを活用した持続可能な健康教育プログラムの開発	900,000	270,000
	地域看護学領域	光井 朱美	講 師	健康危機発生時に新任期保健師の早期離職を予防する心理的支援プログラムの構築	1,400,000	420,000
	地域看護学領域	田中 規子	助 教	在留外国人母子に対する自然災害を想定した自治体保健師のゼロ次予防策の構築	1,700,000	510,000
	理学療法学科	脇田 正徳	助 教	身体への物理的外乱刺激および視覚的刺激を用いた新たなバランストレーニングの開発	2,600,000	780,000
	作業療法学科	加藤 寿宏	教 授	自閉スペクトラム症児の柔らかさの知覚(softness perception)と協調運動障害	1,500,000	450,000
	理学療法学科	池添 冬芽	教 授	骨格筋変性のステージ分類に着目した筋変性予防のための低強度トレーニング法の開発	1,300,000	390,000



研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	内科学第一講座	玉置 岳史	講 師	進行期肺癌に対する癌化学療法への医療経済的なアプローチによる解析	500,000	150,000
	慢性疾患看護学領域	村内 千代	講 師	50歳未満成人2型糖尿病患者の治療中断リスク評価ツールの開発	600,000	180,000
	慢性疾患看護学領域	瀬戸奈津子	教 授	高齢慢性疾患患者を対象とした外来看護包括的アセスメントツールの開発	500,000	150,000
	放射線科学講座	狩谷 秀治	准教授	蛋白付着抑制コートはバイオフィーム形成を阻止しカテーテルへの細菌付着を妨げるか？	300,000	90,000
	小児科学講座	石崎 優子	教 授	起立性調節障害児のデコンディショニングに対するトレーニングプログラムの開発	600,000	180,000
	麻酔科学講座	金沢 路子	助 教	病態解明と創薬を目標とした妊娠高血圧症候群患者の血小板中microRNA解析	100,000	30,000
	産科学・婦人科学講座	岡田 英孝	教 授	内分泌・低酸素環境における子宮内膜分化機構の解明	600,000	180,000
	精神看護学領域	矢山 壮	准教授	看護師のメンタルヘルスクエアのためのWRAP有用性の検証	400,000	120,000
	がん看護学領域	青木 早苗	教 授	遺伝リスクがある乳がん女性のセルフ・トランセンデンスを促進する外来看護指針の開発	700,000	210,000
	在宅看護学領域	高橋美沙子	講 師	認知症高齢者の住まい変更の移行期を支えるプログラム開発のための基礎的研究	400,000	120,000
	理学療法学科	野添 匡史	准教授	脳卒中関連サルコペニアの発症要因によるclassificationと長期予後	700,000	210,000
	理学療法学科	中野 治郎	教 授	腫瘍の形成抑制を狙った酸素濃度調節環境下での運動療法の開発	500,000	150,000
	心理学教室	西垣 悦代	教 授	大学生のためのICTを活用した総合的セルフケアプログラムの開発と実践	700,000	210,000
	医化学講座	前野 寛大	助 教	セレウス菌芽胞の圧カストレス応答における不活性化誘起因子の分子論的・形態学的解析	500,000	150,000
	病理学講座	松浦 徹	講 師	哺乳類胚の着床を可能とする細胞間相互作用の解明	800,000	240,000
	解剖学講座	関 亮平	助 教	イモリ脊髄損傷後の組織再構築における免疫環境の重要性	1,300,000	390,000
	解剖学講座	北田 容章	教 授	成体型再生を可能とする成体イモリの脊髄再生における神経細胞新生の意義の検証	400,000	120,000
	薬理学講座	三木 貴雄	講 師	がん概リズムの関連より同定したRBによる新規標的制御機構の解明	1,000,000	300,000
	iPS・幹細胞応用医学講座	木村 俊哉	助 教	患者iPS細胞を用いたオプティニューリン変異による神経変性機構の解明	1,100,000	330,000
	医化学講座	西田 和彦	助 教	内臓痛特有の痛みをもたらす脊髄神経回路の同定とそのin vivo機能解析	800,000	240,000
	作業療法学科	三木 恵美	准教授	外来治療中の乳がん患者に対する就労支援リハビリテーションプログラムの開発	900,000	270,000
	アレルギーセンター	小林 良樹	准教授	好酸球性エクソソーム由来miRNAから難治性好酸球性気道炎症の病態を探索	1,100,000	330,000
	微生物学講座	竹之内徳博	准教授	HTLV-1関連脊髄症の新規治療スクリーニングに向けた感染モデルの構築と応用	1,000,000	300,000
	精神神経科学講座	加藤 正樹	教 授	オミックスと長期評価による適切なゴールを目指す気分障害の革新的治療の基盤構築	300,000	90,000
	精神神経科学講座	許 全利	助 教	無床精神科における成人発症Ⅱ型シトルリン血症の実態調査研究	400,000	120,000
	放射線科学講座	丸山 拓士	助 教	リンパ還流障害の中枢に画像ガイド下でリンパ管・静脈バイパスを作成する動物実験	600,000	180,000
	精神神経科学講座	齊藤 幸子	講 師	精神分析的療法は自閉スペクトラム症患者のミラーニューロンシステムを補強するか	900,000	270,000
	放射線科学講座	小野 泰之	助 教	PMEAコーティングの生体内長期抗菌効果の証明	700,000	210,000
	脳神経外科学講座	磯崎 春菜	助 教	転写因子を標的とした脊髄髄膜瘤の予防法の開発	300,000	90,000
	小児科学講座	辻 章志	准教授	腸内細菌叢の乱れに着目した小児微小変化型ネフローゼ症候群の病因解明と治療法の開発	1,200,000	360,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教 授	活性化血小板をターゲットとした炎症性腸疾患バイオマーカー同定と新規治療法の開発	600,000	180,000
	内科学第三講座	福井 寿朗	准教授	pSmad2/3L-Thr発現に着目した消化管癌の発癌・進展機構解析と臨床応用	900,000	270,000
	内科学第三講座	本澤 有介	講 師	コラーゲン特異的分子シャペロンHSP47を用いたクローン病腸管狭窄治療法の開発	1,000,000	300,000
	内科学第三講座	田原 智満	講 師	日本人のパレット食道患者の癌化リスクに係わる分子異常と要因	600,000	180,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	内科学第二講座	高木 雅彦	教 授	単極記録型ホルター加算平均心電図のJ波症候群における有用性の検討	900,000	270,000
	腎泌尿器外科学講座	元木 佑典	助 教	副腎皮質オルガノイドを用いた自家移植法の開発	1,000,000	300,000
	肝臓外科学講座	海堀 昌樹	教 授	抗癌剤内包型フタロシアニン修飾リポソームを用いた胆嚢癌に対する新規治療法開発	900,000	270,000
	麻酔科学講座	岩崎 光生	講 師	脳死ドナーの臓器保護戦略 医療ガスを用いての検討	800,000	240,000
	麻酔科学講座	竹下 淳	研究医員	重症敗血症病態の白血球減少に関与するmicroRNAと標的遺伝子、蛋白質の同定	800,000	240,000
	総合研究施設	松尾 禎之	講 師	ナノボアシークエンサーによる血中マイクロバイーム解析に基づく敗血症診断技術開発	800,000	240,000
	救急医学講座	池 側 均	准教授	ショック時に発生する腸管循環異常の病態解明とその制御方法に関わる研究	1,300,000	390,000
	麻酔科学講座	影山 京子	研究医員	播種性血管内凝固症候群の血小板減少に関与するmicroRNAと標的遺伝子の同定	800,000	240,000
	脳神経外科学講座	李 一	助 教	がん幹細胞を標的とした標準免疫療法の開発	1,000,000	300,000
	脳神経外科学講座	武田 純一	講 師	二分脊椎症と診断された患者およびその家族を対象とした原因遺伝子の探索	500,000	150,000
	脳神経外科学講座	内藤 信品	助 教	がん幹細胞の遊走を制御するイオンチャネルの分子基盤	600,000	180,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	朝子 幹也	准教授	花粉食物アレルギー症候群における歯科用金属のアジュバント効果の検討	1,000,000	300,000
	臨床検査医学センター	神田 晃	教 授	好酸球性嗅覚障害の機序解明とEDNをターゲットにした新しい治療戦略の構築	1,100,000	330,000
	眼科学講座	佐々木香る	非常勤講師	抗VEGF薬治療時の抗菌薬点眼反復投与による結膜嚢常在細菌叢のdysbiosis	800,000	240,000
	形成外科学講座	覚道奈津子	教 授	ヒト脂肪幹細胞の陰圧負荷培養を応用した創傷治癒・血管新生効果の解明と応用	700,000	210,000
	形成外科学講座	畔 熱行	講 師	組織の氷点下非凍結による保存	1,300,000	390,000
	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	兒島 由佳	教 授	抜歯後MRONJ発症機序の解明および予防策の確立	1,200,000	360,000
	精神看護学領域	手嶋 大喜	助 教	訪問看護事業所間協同による暴力・ハラスメントのリスクマネジメント体制の構築	900,000	270,000
	衛生・公衆衛生学講座	三宅 眞理	非常勤講師	AIを用いた高齢者の健康診断と個別支援プログラムの開発	400,000	120,000
	理学療法学科	佐藤 春彦	教 授	脳性麻痺児への安全確実な睡眠姿勢ケアの実践を支援する遠隔相談と変形予防効果の検証	500,000	150,000
	作業療法学科	松島 佳苗	准教授	協調運動障害における予測的運動制御の発達の評価指標の開発	900,000	270,000
	内科学第二講座	竹花 一哉	准教授	日本循環器学会データ出力標準フォーマットを用いた心臓核医学検査情報の管理	600,000	180,000
	放射線科学講座	中谷 幸	講 師	CT透視ガイド下穿刺を姿勢制御技術を搭載したデバイスで補助する研究	300,000	90,000
	生物学教室	岡野 圭子	講 師	シアノバクテリアの頑健な概日リズムを実現するKaiC複合体の新規翻訳後制御の解析	1,300,000	390,000
	医化学講座	井上 明俊	助 教	慢性掻痒の創薬に向けた中枢痒み受容体GRPR、NMBRの構造基盤の解明	1,200,000	360,000
	解剖学講座	林 真一	講 師	完全再生動物イモリにおける脊椎再生原理の解明と非再生動物の再生阻害要因克服	1,200,000	360,000
	生理学講座	宮内 哲	非常勤講師	閉じた目の瞳の大きさは変化するのか？－閉眼・睡眠時の瞳孔径と眼位計測法の開発－	1,300,000	390,000
	ゲノム解析部門	安河内彦輝	講 師	生体・細胞の全遺伝子発現変動に基づく急性低酸素応答を駆動する主要遺伝子群の解明	900,000	270,000
	生物学教室	上村 允人	助 教	嗅内皮質－海馬間の神経基盤形成におけるプロトカドヘリンの分子機構と生理学的意義	1,200,000	360,000
	侵襲反応制御部門	松尾 朋彦	講 師	致死的低酸素環境下での生存期間延長を可能とする脳神経核の同定および作用機序の解明	1,400,000	420,000
	生理学講座	武藤 恵	講 師	海馬生後発達における代謝型グルタミン酸受容体のサブタイプ特異的機能の解明	1,300,000	390,000
	基礎看護学領域	平原 幸恵	教 授	スルファチド分子種の局在解析によってオリゴデンドロサイトの異種性を特徴づける	600,000	180,000
	薬理学講座	富川 直樹	助 教	Lysyl oxidase欠損により発症する大動脈瘤形成機序の解明	1,300,000	390,000
	病理学講座	葛 幸治	教 授	位相差顕微鏡ならびに蛍光細胞染色を用いた迅速細胞診の精度向上への試み	500,000	150,000
	生体情報部門	住吉 麻実	助 教	Arf経路を介したT細胞脂質代謝リプログラミングの分子基盤解明	1,100,000	330,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
基盤研究(C) 継続	分子遺伝学部門	植田 祥啓	准教授	Rap1によるインテグリン非依存的T細胞活性化機構の解明	1,200,000	360,000
	乳腺外科学講座	矢内 洋次	講 師	遺伝性乳癌卵巣癌症候群の乳癌発症機構の解明を基軸とした予防的乳房切除の指標確立	900,000	270,000
	胆膵外科学講座	橋本 大輔	准教授	膵癌腹膜播種における新規ターゲットに対する光免疫療法の開発	1,400,000	420,000
	腎泌尿器外科学講座	吉田 崇	助 教	組織表現型に基づいた腎癌オルガノイドの樹立と新規治療戦略の創出	1,100,000	330,000
	内科学第三講座	島谷 昌明	教 授	腫瘍性膵嚢胞および膵癌の発癌早期予測を可能にする新規バイオマーカーの開発の研究	900,000	270,000
	内科学第一講座	伊藤 量基	教 授	樹状細胞をターゲットにした、JAK阻害の有効性と副反応の一元的機序解明	1,200,000	360,000
	精神神経科学講座	嶽北 佳輝	教 授	緊張病の分子生物学的病態解明を目指した横断/縦断研究	100,000	30,000
	放射線科学講座	中村 聡明	教 授	積極的骨転移診療に向けた放射線治療適応スコアの開発	800,000	240,000
	肝臓外科学講座	石崎 守彦	講 師	根治不能肝細胞癌に対するEphA2遺伝子を標的とした新規核酸医薬の開発	1,300,000	390,000
	iPS・幹細胞再生医学講座	服部 文幸	教 授	TGFβ1を用いたヒトiPS細胞由来心筋細胞による心臓再生医療の高度化	1,900,000	570,000
	薬理学講座	平井 希俊	講 師	メカニカルストレスのかかる心筋細胞核におけるゲノム高次構造の役割の解明	1,200,000	360,000
	内科学第二講座	塚口 裕康	講 師	蛋白翻訳プロセスから探る腎と神経発達障害の分子機構	1,400,000	420,000
	内科学第一講座	佐竹 敦志	准教授	セマフォリン4Aから迫る移植後大量エンドキサン療法最適化のための基礎的研究	1,000,000	300,000
	精神神経科学講座	船楓 紀也	助 教	肝胆膵癌に対する高侵襲手術におけるせん妄の病態探求および術後経過との関連性の検討	400,000	120,000
	胆膵外科学講座	里井 壯平	教 授	光免疫療法による腹膜播種性癌に対する新規治療法の確立	1,400,000	420,000
	救急医学講座	鎌方 安行	教 授	敗血症ショックに対するチアゾリン類恐怖臭物質を利用した新たな循環管理法の開発	1,200,000	360,000
	救急医学講座	室谷 卓	講 師	腸管虚血再灌流障害の軽減のための薬剤・チアゾリン類恐怖臭の効果の検討	1,100,000	330,000
	脳神経外科学講座	李 強	助 教	AMPA受容体をターゲットとしたグリオーマの創薬基盤	1,300,000	390,000
	衛生・公衆衛生学講座	村上 由希	講 師	骨粗鬆症の予防および改善に有効な新規機能性分子の探索と作用機序の解明	1,200,000	360,000
	整形外科科学講座	安藤 宗治	嘱託医	脊椎脊髄術中神経生理モニタリングの精度の向上に関する研究	700,000	210,000
	整形外科科学講座	植田 成実	助 教	NGSを用いたインプラント周囲感染・骨髄炎細菌叢と薬剤耐性遺伝子網羅的解析	1,100,000	330,000
	腎泌尿器外科学講座	佐野 剛視	講 師	同所性同種膀胱癌モデルマウスを用いた免疫チェックポイント阻害剤感受性因子の解明	1,400,000	420,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	岩井 大	教 授	骨髄細胞接種による老人性難聴予防の検討	1,200,000	360,000
	眼科学講座	盛 秀嗣	講 師	LTP2遺伝子欠損マウスに外的刺激アドオンによる落屑症候群モデルマウスの作成	1,000,000	300,000
	附属病院歯科・口腔外科・口腔ケアセンター	坂本 由紀	助 教	高齢者の睡眠時無呼吸とサルコペニアの関連解明	1,000,000	300,000
	産科学・婦人科学講座	佐藤 智佳	助 教	遺伝性乳癌卵巣癌患者のリスク低減乳房切除術とQOLの関連検討	100,000	30,000
	精神看護学領域	三木 明子	教 授	医療・在宅現場の暴力・ハラスメント対策を促進するためのツール開発	500,000	150,000
	看護学教育領域	吉田 和美	教 授	看護師のフォローアップ育成支援プログラムの開発に関する研究	1,000,000	300,000
	がん看護学領域	松井 利江	准教授	婦人科がん患者のセクシュアリティのケア実践能力向上を目指した教育プログラム開発	1,100,000	330,000
	理学療法学科	宮本 俊朗	准教授	入院期の身体機能維持を目的とした身体活動補完プログラムの基盤創出	1,000,000	300,000
	理学療法学科	太田 恵	准教授	小型センサを用いたマーカレスでの脊椎挙動解析デバイスの開発	900,000	270,000
	理学療法学科	福元 喜啓	准教授	超音波法を用いた筋変性推定モデルの構築と実用性検証	400,000	120,000
	呼吸器腫瘍内科学講座	勝島 詩恵	助 教	外来化学療法中の進行・再発がん患者の包括的がんリハビリテーションプログラムの開発	500,000	150,000
若手研究 新規	解剖学講座	佐藤 勇輝	助 教	イモリ脊髄再生細胞の同定及びマウス脊髄損傷モデルへの応用	1,600,000	480,000
	腎泌尿器外科学講座	池田 純一	助 教	空間トランスクリプトーム解析による前立腺癌導管内浸潤マーカーの同定と機能解析	1,300,000	390,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究 新規	基盤開発部門	大谷 拓也	助 教	EGF受容体結合ペプチドを基盤とする新規ラジオセラノスティクス薬剤の開発	1,500,000	450,000
	呼吸器腫瘍内科学講座	竹安 優貴	助 教	肺がんにおける下気道細菌叢が免疫チェックポイント阻害剤効果に及ぼす影響の解明	1,400,000	420,000
	腎泌尿器外科学講座	大杉 治之	助 教	空間トランスクリプトーム解析による小径腎細胞癌の転移予測マーカーの同定と機能解析	1,200,000	360,000
	精神神経科学講座	緒方 治彦	助 教	注意欠如・多動症特性を有するうつ病に対する薬物療法の最適化及び生物学的基盤の探索	1,100,000	330,000
	皮膚科学講座	岸本 泉	講 師	IgE依存性アレルギーマウスモデルでの好塩基球に着目した特発性蕁麻疹の病態検討	2,100,000	630,000
	麻酔科学講座	楠 宗矩	助 教	静脈麻酔薬レミマゾラムによるインスリン分泌抑制機序の解明	2,100,000	630,000
	救急医学講座	中村 文子	講 師	ラット重症熱中症モデルに対する2-methyl-2-thiazolineの効果の検討	1,700,000	510,000
	整形外科科学講座	朴 正旭	助 教	神経再生領域におけるバイオマーカーとしての神経誘発磁界計測のエビデンス構築	800,000	240,000
	法医学講座	榎本 祐子	助 教	microRNA網羅的検索によるOTC併用中毒の病態解明	1,500,000	450,000
	作業療法学科	砂川 耕作	助 教	認知症早期診断に向けた簡易的スマートフォン操作を用いた評価システムの開発	1,000,000	300,000
	老年看護学領域	金原 京子	講 師	介護付き有料老人ホームでの対話型ACP介入における高齢者・家族・支援者の意識変化	600,000	180,000
	理学療法学科	中尾 彩佳	助 教	筋伸張を利用した低強度トレーニング法が筋機能に及ぼす効果の検討	1,000,000	300,000
若手研究 継続	クリティカルケア看護学領域	小林 寛子	助 教	在宅療養移行を実現する悪性脳腫瘍患者の外泊看護支援プログラムの作成	200,000	60,000
	放射線科学講座	河野由美子	講 師	悪性腫瘍に対する新たな放射線塞栓療法の開発	700,000	210,000
	精神神経科学講座	池田俊一郎	講 師	症状評価と客観的指標を用いた摂食障害に対する反復経頭蓋磁気刺激療法の有効性の検証	300,000	90,000
	精神神経科学講座	越川 陽介	研究員	フォーカシングの精神科領域臨床応用のための無作為化比較試験：うつ病とQOL	800,000	240,000
	生理学講座	石井 宏憲	助 教	制限時間依存的な採餌戦略スイッチングの行動・神経基盤を解明する	900,000	270,000
	腎泌尿器外科学講座	安田 鐘樹	助 教	前立腺癌担瘤マウスへのMST1 inhibitor投与による腫瘍抑制効果の検討	600,000	180,000
	精神神経科学講座	青木 宣篤	講 師	ECTにおけるけいれん発作の成否を包括的に定量化するレジストリ研究とその検証	800,000	240,000
	内科学第三講座	中丸 洸	助 教	1型自己免疫性膵炎における細胞外小胞由来miR-21-5pの病態への関与	700,000	210,000
	内科学第三講座	伊藤 嵩志	助 教	膵管内乳頭粘液性腫瘍に対する制御性T細胞を中心とした新規バイオマーカーの探索	100,000	30,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	鈴木 健介	准教授	I-131抵抗性の克服による甲状腺癌に対する新規分子標的薬併用放射線療法の開発	1,300,000	390,000
	病理学講座	野田 百合	講 師	口腔腫瘍性病変表層に特異的に発現する新規分化関連タンパク質の発現と作用機序の解析	700,000	210,000
	解剖学講座	中野 洋輔	助 教	学生自身の手による医用画像利用と3Dプリンタ出力の解剖学教育効果の検証	700,000	210,000
	母性(助産)看護学領域	藤本 綾子	助 教	睡眠の自己調整法を活用した育児期の睡眠支援プログラムの開発	300,000	90,000
	こども看護学領域	古藤 雄大	講 師	副腎白質ジストロフィー患者の特異的QOL尺度の開発と応用	800,000	240,000
	理学療法学科	福島 卓矢	助 教	新たながん悪液質に対するエンドポイントを置いた集学的リハビリテーション介入の開発	1,100,000	330,000
	理学療法学科	梅原 潤	助 教	3次元超音波とエラストグラフィーの融合による3次元筋スティフネスのモデル化	700,000	210,000
	健康科学センター	黒瀬 聖司	講 師	減量中のマイオカイン動態による骨格筋機能の制御と身体活動の目標設定	800,000	240,000
	侵襲反応制御部門	松田 烈士	研究員	グリア細胞による睡眠様低代謝誘導の機序と役割の解明	1,700,000	510,000
	神経内科学講座	村上 綾	助 教	神経栄養因子NRG1を標的とした脳アミロイドアンギオパチーの病態解明と治療薬の探索	200,000	60,000
	神経内科学講座	峠 理絵	助 教	セロトニン系を標的とした新規治療法開発に資するレボドパ誘発性ジスキネジア病態解明	700,000	210,000
	放射線科学講座	小池 優平	助 教	Dual energy CTに基づくエネルギー特異的Radiomics解析：頭頸部癌予後予測モデル開発	800,000	240,000
	小児科学講座	赤川 翔平	講 師	機能性大変を用いた腸内細菌叢の是正が小児食物アレルギー患者の治療効果に及ぼす影響	1,800,000	540,000
	内科学第二講座	堀谷 啓太	助 教	SGLT2阻害剤の免疫細胞への影響と心不全予後を改善するメカニズムの解明	1,100,000	330,000



研究種目等	研究代表者			研究課題	交付内定額	
					直接経費	間接経費
若手研究 継続	小児科学講座	大町 太一	講 師	ある脱ユビキチン化酵素が標的とする転写因子の探索を通した赤血球造血機構の解明	1,000,000	300,000
	下部消化管外科科学講座	小林 壽範	助 教	浸潤突起に着目した大腸直腸癌の予後不良因子"粘液腫状間質"形成メカニズムの解明	1,200,000	360,000
	救急医学講座	尾上 敦規	助 教	開放骨折症例での迅速感染症診断を可能にする超小型シーケンスシステムの確立	600,000	180,000
	小児科学講座	赤川友布子	研究医員	尿中細菌叢を標的としたクランベリーによる過活動膀胱の新たな治療戦略開発	1,700,000	510,000
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座	尹 泰貴	講 師	ガレクチン1とS100A8の時空的発現不均衡からみた好酸球性副鼻腔炎への新規創薬	1,100,000	330,000
	法医学講座	眞鍋 翔	助 教	人工知能による遺留DNAの由来となる個人のデータベース探索法の開発	1,300,000	390,000
	心療内科科学講座	佐久間博子	研究員	看護師が行う超音波画像診断装置を用いたGastric outlet obstruction評価方法の開発	200,000	60,000
	作業療法学科	山下 円香	助 教	脳ネットワークを指標とした学習理論に基づく高齢者の認知トレーニングの開発	700,000	210,000
	理学療法学科	森 公彦	助 教	片麻痺歩行の多関節運動制御と運動学的特徴の相互連関に基づいた歩行障害の類型化	700,000	210,000
	理学療法学科	山縣 桃子	助 教	膝関節の個別化筋骨格モデルに基づいた定型化筋骨格モデルの構築	1,400,000	420,000
挑戦的研究 (開拓) 継続	侵襲反応制御部門	小早川 高	教 授	人工冬眠・生命保護状態を誘導する感覚創薬技術による低酸素脳死の回避	7,000,000	2,100,000
挑戦的研究 (萌芽) 継続	生理学講座	中村 加枝	教 授	サル扁桃体一背側縫線核回路の化学遺伝学的操作によるストレス下行動制御機構の解明	1,200,000	360,000
	薬理学講座	中邨 智之	教 授	弾性線維再生のための標的分子の同定	2,500,000	750,000
	神経機能部門	小早川令子	教 授	先天的恐怖臭刺激が誘導する保護作用の誘導原理の解明	2,500,000	750,000
	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	教 授	骨格筋量による骨折発生の予測：高齢男性骨粗鬆症コホートの4から8年後追跡研究	1,300,000	390,000
研究活動スタート支援 継続	地域看護学領域	堀内寿美子	助 教	血圧コントロール改善に効果的な支援の検討－労働者と産業保健師の視点から－	400,000	120,000
	作業療法学科	東田 仁美	研究員	都市部大規模住宅団地で暮らす独居高齢者の防災意識と備え「自助」に関する基礎的研究	600,000	180,000
	理学療法学科	中條 雄太	助 教	片麻痺歩行における膝運動異常パターン別の多関節運動制御の解明および介入効果の検証	1,100,000	330,000
国際共同研究強化 (B) 継続	母性(助産)看護学領域	酒井ひろ子	教 授	ネパール山間農村部の母子栄養改善に向けた思春期から周産期までの介入効果の検証	2,700,000	810,000

(単位：円)

令和5年度科学研究費助成事業交付決定(追加：他大学からの転入の代表者等)一覧(日本学術振興会)

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
基盤研究(B)	腫瘍病理学部門	川崎 善博	准教授	多機能性を有したWnt/c-Myc標的lncRNAによる細胞癌化機構の解明	3,700,000	1,110,000	4,810,000
	理学療法学科	野村 卓生	教 授	高齢糖尿病患者の身体的フレイル予防を目的とした予後予測に基づく介入戦略の構築	3,100,000	930,000	4,030,000
基盤研究(C)	理学療法学科	野添 匡史	准教授	脳卒中関連サルコペニアの発症要因によるclassificationと長期予後	700,000	210,000	910,000
	腎泌尿器外科学講座	佐野 剛視	講 師	同所性同種膀胱癌モデルマウスを用いた免疫チェックポイント阻害剤感受性因子の解明	1,600,000	480,000	2,080,000
	看護学教育領域	吉田 和美	教 授	看護師のフォローアップ育成支援プログラムの開発に関する研究	500,000	150,000	650,000
	がん看護学領域	松井 利江	准教授	婦人科がん患者のセクシュアリティのケア実践能力向上を目指した教育プログラム開発	600,000	180,000	780,000
	理学療法学科	太田 恵	准教授	小型センサを用いたマーカレスでの脊椎挙動解析デバイスの開発	900,000	270,000	1,170,000
	侵襲反応制御部門	小早川 高	教 授	人工冬眠・生命保護状態を誘導する感覚創薬技術による低酸素脳死の回避	7,000,000	2,100,000	9,100,000
挑戦的研究(萌芽)	薬理学講座	中邨 智之	教 授	弾性線維再生のための標的分子の同定	2,500,000	750,000	3,250,000
	神経機能部門	小早川令子	教 授	先天的恐怖臭刺激が誘導する保護作用の誘導原理の解明	2,500,000	750,000	3,250,000
	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	教 授	骨格筋量による骨折発生の予測：高齢男性骨粗鬆症コホートの4から8年後追跡研究	1,300,000	390,000	1,690,000
若手研究	こども看護学領域	古藤 雄大	講 師	副腎白質ジストロフィー患者の特異的QOL尺度の開発と応用	1,100,000	330,000	1,430,000

研究種目等	研究代表者			研究課題	交付決定額		
					直接経費	間接経費	合計
研究活動スタート支援	地域看護学領域	堀内寿美子	助 教	血圧コントロール改善に効果的な支援の検討－労働者と産業保健師の視点から－	500,000	150,000	650,000
	在宅看護学領域	東田 仁美	助 教	都市部大規模住宅団地で暮らす独居高齢者の防災意識と備え「自助」に関する基礎的研究	500,000	150,000	650,000
	理学療法学科	中條 雄太	助 教	片麻痺歩行における膝運動異常パターン別の多関節運動制御の解明および介入効果の検証	1,100,000	330,000	1,430,000
決定額(追加分)合計					27,600,000	8,280,000	35,880,000

(単位：円)

厚生労働省関係

令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
医薬品・医療機器等 レギュラトリーサイ エンス政策研究事業	微生物学講座	大隈 和	教 授	安全な血液製剤の安定供給に資する適切な採血事業体制の構築のための研究	5,550,000	270,000	5,820,000
合 計					5,550,000	270,000	5,820,000

(単位：円)

令和6年度厚生労働省その他補助金交付内定者(代表者)一覧

研究事業名	研究代表者			研究課題	直接経費	間接経費	合計
慢性疼痛診療システ ム均てん化等事業費	心療内科学講座	水野 泰之	診療講師	慢性疼痛診療システム均てん化等事業費	20,000,000	0	20,000,000
合 計					20,000,000	0	20,000,000

(単位：円)

令和5年度厚生労働科学研究補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
難治性疾患政策研究 事業	微生物学講座	竹之内徳博	准教授	HAMならびに類縁疾患の患者レジストリによる診療連携体制および相談機能の強化と診療ガイドラインの改訂	聖マリアンナ医科大学 医学部内科学(脳神経内科) 教授 山野 嘉久	200,000
	内科学第三講座	池浦 司	准教授	オールジャパン体制によるIgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究	金沢大学 附属病院 リウマチ・膠原病内科 講師 川野 充弘	500,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教 授	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	学校法人杏林学園 杏林大学 医学部 消化器内科学 教授 久松 理一	200,000
	内科学第三講座	長沼 誠	教 授	ペーチェット病に関する調査研究	日本医科大学 医学部 准教授 岳野 光洋	300,000
	脳神経外科学講座	埜中 正博	診療教授	神経変性疾患領域における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	東京大学大学院 医学系研究科神経内科学 教授 戸田 達史	800,000
	外科学講座	濱田 吉則	名誉教授	小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における医療水準並びに患者QOLの向上のための調査研究	東北大学 大学院医学系研究科 客員教授 仁尾 正記	150,000
循環器疾患・糖尿病等 生活習慣病対策総合研究事業	衛生・公衆衛生学講座	甲田 勝康	研究教授	我が国における公衆衛生学的観点からの健康診査の評価に資する研究	国立大学法人筑波大学 医学医療系 教授 山岸 良匡	300,000

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
医薬品・医療機器等 レギュラトリーサイ エンス政策研究事業	微生物学講座	大隈 和	教 授	新興・再興感染症等の感染症から献血由来の血液製剤の安 全性を確保するための研究	埼玉医科大学 医学部 客員准教授 岡田 義昭	690,000
政策科学総合研究事業 (政策科学推進研究事業)	医療安全管理センター	宮崎 浩彰	理事長特命 教授(医療 安全担当)	医療安全地域連携加算等による医療経済・医療安全上の影 響の検証と効率的かつ効果的な体制構築に向けた研究	国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 上席主任研究官 種田 憲一郎	500,000
合 計						3,640,000

(単位：円)

令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金(分担者)一覧(事務委任分)

研究事業名他	講座	氏名	職位	課題名	研究代表者	直接経費
医薬品・医療機器等 レギュラトリーサイ エンス政策研究事業	整形外科学講座	齋藤 貴徳	教 授	サリドマイド胎芽症患者の健康、生活実態の把握及び支援 基盤の構築	国立研究開発法人国立国際 医療研究センター 糖尿病内分泌代謝科 医長 田辺 晶代	3,000,000
慢性の痛み政策研究 事業	麻酔科学講座	中本 達夫	教 授	痛みセンターを中心とした慢性疼痛診療システムの均てん 化と診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	福島県立医科大学 保健科学部 学部長 矢吹 省司	200,000
合 計						3,200,000

(単位：円)

その他の公的研究費

令和5年度 日本医療研究開発機構(AMED)、科学技術振興機構(JST)等 委託費等採択一覧

※職位・所属については契約時の表記となります

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、共同研究者等 (研究分担時)(数称略)	直接経費	間接経費	合 計
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的先端研究開発支援事業 ソロタイプ「生体組織の適応・修 復機構の時空間的解析による生 命現象の理解と医療技術シーズ の創出」研究開発領域(AMED PRIME)	免疫部門	石亀 晴道	准教授	腸管神経機能を介した腸内環境 変化に伴う適応・修復機構の時 空間的解析	代表	－	12,835,000	3,850,500	16,685,500
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	創業支援推進事業・創業総 合支援事業(創業ブースター)	分子遺伝学 部門	池田 幸樹	助 教	インテグリン阻害による新規神 経膠芽腫治療薬の探索	代表	－	717,474	71,747	789,221
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	創業支援推進事業・創業総 合支援事業(創業ブースター)	iPS・幹細 胞再生医 学講座	服部 文幸	研究教授	新規重症筋無力症治療薬の効果 の検証	代表	－	3,960,000	396,000	4,356,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	慢性の痛み解明研究事業	医化学講座	片野 泰代	准教授	新規シナプス分子に着目した神 経障害性疼痛の病態機序の解明 とその予防および治療薬創出を 目指した研究	代表	－	4,500,000	1,350,000	5,850,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的先端研究開発支援事業 ユニットタイプ「マルチセンシング ネットワークの統合的理解と制御機 構の解明による革新的医療技術 開発」研究開発領域(AMED- CREST)	神経機能 部門	小早川 高	准教授	感覚創薬技術のヒト臨床実用化 への理論基盤	代表	－	53,570,000	16,071,000	69,641,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	戦略的創造研究推進事業 (CREST)	分子遺伝学 部門	清末 優子	学長特 命教授	高精度時空間計測による多元細 胞情報統合	代表	－	25,090,000	7,527,000	32,617,000
科学技術 振興機構 (JST)	創発的研究支援事業	基盤開発 部門	花岡 宏史	研究所 教 授	革新的内視鏡治療のための局所 投与用免疫療法薬の創出	代表	－	6,780,000	2,034,000	8,814,000
情報通信 研究機構 (NICT)	高度通信・放送研究開発委 託研究	健康科学 センター	木村 穰	教 授	データ利活用等のデジタル化の 推進による社会課題・地域課題 解決のための実証型研究開発 誰でも利用できる非接触WEB体 力・脳力測定システム開発によ る自治体と連携した健康事業参 加者のすそ野拡大	代表	－	2,200,000	660,000	2,860,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補金 「橋渡し研究プログラム」	整形外科 学講座	植田 成実	助 教	インプラント周囲感染および骨軟部 組織感染症、手術部位感染の迅速診断 と MRSA/MRCNSおよび緑膿菌に対 する抗菌薬選択が可能な遺伝子迅速 検査の開発(シーズ管理番号[A-225])	代表	－	1,327,273	172,727	1,500,000

所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、共同研究者等 (研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合 計
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補金 「橋渡し研究プログラム」	麻酔科学 講座	中本 達夫	診療教授	確実な深部超音波ガイド下穿刺 実現のための空間位置キャプ チャーを用いたMixed Reality ナビ ゲーションシステムの開発(シー ズ管理番号【A-223】)	代表	－	1,701,819	210,181	1,912,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補金 「橋渡し研究プログラム」	外科学講座	中竹 利知	助 教	多分野・多領域・多地域を集約した 日本発新規医療技術の研究開発 シーズA285「ヒト難治性敗血症に対 するインターロイキン制御を目的と した核酸医薬の開発研究」	代表	－	2,481,819	248,181	2,730,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補金 「橋渡し研究プログラム」	iPS・幹細胞 再生医学講座	白水 泰昌	講 師	ヒトiPS細胞由来代謝異常性肝疾 患治療製剤の創出を目指した研究 (シーズ番号【A187】)	代表	－	1,150,000	125,000	1,275,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補金 「橋渡し研究プログラム」	病理学講座	野田 百合	診療講師	唾液を用いた口腔腫瘍診断キッ トの開発	代表	－	2,727,273	272,727	3,000,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補金 「橋渡し研究プログラム」	iPS・幹細胞 再生医学講座	松岡 由和	助 教	増幅造血幹細胞製剤の開発	代表	－	3,140,909	314,090	3,454,999
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的先端研究開発支援事業 ユニットタイプ「マルチセンシングネ ットワークの統合的理解と制御機 構の解明による革新的医療技術 開発」研究開発領域(AMED- CREST)	生理学講座	中村 加枝	教 授	感覚創薬技術のヒト臨床実用化 への理論基盤	分担	学校法人関西医科大学 准教授 小早川高	13,000,000	3,900,000	16,900,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	外科学講座	井上健太郎	診療教授	進行胃癌を対象とした大網切除に対 する大網温存の非劣性を検証するラ ンダム化比較第III相試験	分担	国立がん研究センター 科長 吉川貴己	0	0	－
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発革新基盤創成 事業(CICLE)	整形外科学	齋藤 貴徳	教 授	脊磁計による神経機能情報を活用 した新たな診断技術の確立	分担	株式会社リコー	0	0	－
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	次世代治療・診断実現のため の創薬基盤技術開発事業	分子遺伝学 部門	池田 幸樹	助 教	国際競争力のある次世代抗体医薬品 製造技術開発/革新的な次世代抗体医 薬品製造基盤技術の開発(サメVNAR 作製プラットフォームを基盤とした 次世代抗体医薬品の開発技術高度化)	分担	国立大学法人愛媛大学 准教授 竹田浩之	0	0	－
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	新興・再興感染症に対する 革新的医薬品等開発推進研究 事業	微生物学 講座	大隈 和	教 授	ゲノム情報を基盤としたHTLV-1 感染症の病態形成機序の解明及び 発症リスク予知アルゴリズム 開発に関する総合的研究	分担	国立大学法人東京大学 准教授 山岸誠	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	新興・再興感染症に対する 革新的医薬品等開発推進研究 事業	微生物学 講座	大隈 和	教 授	HTLV-1水平感染の動向と検査 法・検査体制の整備	分担	国立大学法人長崎大学 教授 三浦清徳	2,500,000	750,000	3,250,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	内科学第一 講座	佐竹 敦志	准教授	急性骨髄性白血病に対する治療 用がんベプテドワクチン「DSP- 7888」のPhase2医師主導治験	分担	国立大学法人大阪大学 助教 中田潤	917,000	275,100	1,192,100
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	肝炎等克服実用化研究事業 B型肝炎創薬実用化等研究 事業	がん生物学 部門	坂本 毅治	学長特 命教授	B型肝炎ウイルスに対する宿主 防御機構の解明と免疫治療の開 発に資する研究	分担	国立大学法人金沢大学 准教授 水腰英四郎	9,000,000	2,700,000	11,700,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	肝炎等克服実用化研究事業 B型肝炎創薬実用化等研究 事業	がん生物学 部門	坂本 毅治	学長特 命教授	B型肝炎ウイルス排除に向けた 新規治療法の最適化と学術基盤 の確立	分担	国立大学法人金沢大学 教授 本多政夫	25,300,000	7,590,000	32,890,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医療研究開発推進事業費補金 「橋渡し研究プログラム」	外科学講座	里井 壯平	診療教授	独自に発見した全く新しい phenotypeのNK様細胞を用いた 養子免疫技術の実用化開発：第1 相医師主導治験	分担	国立大学法人九州大学 教授 米満吉和	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	次世代がん医療加速化研究 事業	内科学第 三講座	島谷 昌明	診療教授	エクソソームを活用したバイオ マーカーによる新規臓器がん診 断法の開発	分担	学校法人東京医科大学 特任講師 吉岡祐亮	1,000,000	300,000	1,300,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	外科学講座	関本 貢嗣	教 授	直腸癌局所再発に対する標準治 療確立のための研究開発	分担	国立がん研究センター 副院長 伊藤雅昭	300,000	90,000	390,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事業	眼科学講座	高橋 寛二	教 授	慢性中心性漿液性脈絡網膜症に対 するレーザー照射エネルギー減量光線 力学的療法の有効性及び安全性を検 証する医師主導治験	分担	国立大学法人京都大学 特定講師 三宅正裕	4,000,000	1,200,000	5,200,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第二 講座	竹花 一哉	准教授	心臓核医学検査による特発性心 筋症病態層別化指標の確立	分担	国立大学法人大阪大学 教授 坂田泰史	500,000	150,000	650,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	内科学第 三講座	長沼 誠	教 授	レジストリを活用したペーチェ ット病の予後不良病型発症予防 のためのtreat-to-target開発	分担	公立大学法人 横浜市立大学 講師 桐野洋平	200,000	60,000	260,000



所管組織等	事業名等	講 座	氏 名	職 位	研究課題名	研究代表者/ 研究分担者	研究代表者、共同研究者等 (研究分担時)(敬称略)	直接経費	間接経費	合 計
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	創業支援推進事業・創業総合 支援事業(創業ブースター)	生理学講座	林 美樹夫	講 師	インテグリン阻害による新規神 経膠芽腫治療薬の探索	分担	国立大学法人 京都大学 特定助教 池田幸樹	2,946,400	294,640	3,241,040
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	心療内科学 講座	蓮尾 英明	教 授	がん患者のオピオイド不応の神 経障害性疼痛への標準的薬物療 法の開発：国際共同試験ならび に普及実装に向けた研究	分担	国立がん研究センター 科長 松岡弘道	300,000	90,000	390,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	新興・再興感染症研究基盤 創生事業(多分野融合研究 領域)	ゲノム解析 部門	安河内彦輝	講 師	医学、進化学、情報科学の融合研 究による耐性化しない抗マalaria 薬の創製にむけた基盤技術の開発	分担	学校法人順天堂 教授 美田敏宏	700,000	210,000	910,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	臨床研究・治験推進研究事 業	神経内科学 講座	薬師寺祐介	教 授	ロ メ リ ジ ン 塩 酸 塩 に よ る CADASIL患者に対する脳虚血イ ベント再発抑制	分担	京都府公立大学法人 京都府立医科大学 講師 尾原知行	50,000	15,000	65,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的がん医療実用化研究 事業	呼吸器腫瘍 内科学講座	吉岡 弘鎮	准教授	進展型小細胞肺癌に対する新た な治療開発を目指した研究	分担	学校法人獨協学園 教授 仁保誠治	500,000	150,000	650,000
科学技術 振興機構 (JST)	社会技術研究開発事業	心療内科学 講座	阿部 哲也	准教授	ジェスチャインタフェースを活 用した運動機能障害者のための 就労・教育支援モデルの構築お よび人材育成	分担	産業技術総合研究所 主任研究員 依田育士	400,000	120,000	520,000
消防庁	消防防災科学技術研究推進 制度	救急医学 講座	鎌方 安行	教 授	新型コロナウイルス感染症が救 急医療体制並びに搬送困難例発 生に与えた影響評価	分担	国立大学法人大阪大学 教授 織田 順	440,615	132,185	572,800
BRAIN(農 研機構)	イノベーション創出強化研究 推進事業	リハビリテ ーション医 学講座	菅 俊光	診療教授	持続的安定供給可能な水産資源 を活用した医食連携によるフレ イル対策及び栄養介入法の確立 と、有用成分を含有する次世代機 能性水産資源のリスト化を通じ た国内水産業活性化への寄与	分担	国立大学法人愛媛大学 教授 岸田太郎	840,000	252,000	1,092,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	難治性疾患実用化研究事業	薬理学講座	中邨 智之	教 授	新規大動脈解離マウスモデルを用 いたマルファン症候群等類縁疾患 の大動脈解離発症機序の解明	分担	国立大学法人筑波大学 教授 柳沢裕美	2,000,000	600,000	2,600,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	先端のバイオ創業等基盤技 術開発事業	医化学講座	小林 拓也	教 授	拡張結晶スポンジ法によるタン パク質の革新的分子構造解析	分担	国立大学法人京都大学 准教授 藤田大士	3,200,000	960,000	4,160,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	医薬品等規制調和・評価研 究事業	医療安全管 理センター	徳永あゆみ	センター 准教授	緊急的な状況における薬事行政 と市民の相互理解に寄与するコ ミュニケーション法の検討	分担	国立大学法人大阪大学 助教 北村温美	100,000	30,000	130,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	障害者対策総合研究開発事 業(精神障害分野)	精神神経 科学講座	加藤 正樹	准教授	Polygenicモデルと薬物動態学に 基づく精神疾患治療反応予測法 開発	分担	国立大学法人東海国立 大学機構名古屋大学 教授 池田匡志	15,000,000	4,500,000	19,500,000
日本医療 研究開発 機構 (AMED)	革新的医療技術研究開発推 進事業	がんセンター	朴 将源	診療講師	患者由来がん幹細胞培養を基盤 とした革新的個別化医療開発	分担	国立大学法人京都大学 教授 小濱和貴	538,000	161,400	699,400
合 計								207,913,582	58,433,478	266,347,060

(単位：円)

その他外部資金

令和5年度研究助成金等受贈者(採択)一覧

令和5年度に採択された各種助成財団による研究助成金を下記の研究者が受贈されました。(大学を通じての申請分を掲載)

※受贈者の職位は採択時のものです。

研究助成法人・団体等	研究助成名	講座等	氏名	職位	研究課題等	助成額等
一般財団法人藤井節郎記念大 阪基礎医学研究奨励会	令和5年度研究助成金	外科学講座	井上健太郎	診療教授	減量・代謝改善手術後の長期フォロー用スマ ートフォンアプリケーションの開発	2,000,000
一般社団法人日本アレルギー 学会	2023年度サノフィ優秀論文賞	耳鼻咽喉科・頭頸部 外科学講座	尹 泰貴	助 教	対象論文名：Increased CD69 expression on activated eosinophils in eosinophilic chronic rhinosinusitis correlates with clinical findings. Allergology International 2020;69(2):232-238.	500,000
一般社団法人日本血液学会	日本血液学会研究助成	内科学第一講座	佐竹 敦志	准教授	セマフォリン4Aからアプローチする移植後大量 エンドキサン療法最適化のための基礎的研究	300,000
一般社団法人日本損害保険協会	2023年度 交通事故医療研究助成	産科学・婦人科学 講座	森川 守	診療教授	妊娠中の自動車運転状況ならびにその際のヘル メット着用状況の調査研究	970,000
一般社団法人日本腹部救急医 学会	2023年度腹部救急を担う若手医師の ための臨床研究助成研究	外科学講座	宮崎 秀高	助 教	臍頭十二指腸切除術を受けた患者における術前 腸内細菌叢が術後合併症に与える影響について の網羅的解析	200,000

研究助成法人・団体等	研究助成名	講座等	氏名	職位	研究課題等	助成額等
一般社団法人古川医療福祉設備振興財団	第10回研究助成	理学療法学科	中條 雄太	助 教	脳卒中後片麻痺歩行における筋シナジーの障害像ごとのロボットアシスト歩行練習効果の検証	1,999,000
公益財産法人上原記念生命科学財団	研究奨励金	神経機能部門	松田 烈士	研究員	アストロサイトを軸とした全身機能への介入	2,000,000
公益財団法人飯島藤十郎記念食品科学振興財団	2023年度学術研究助成	衛生・公衆衛生学講座	村上 由希	講 師	食事性たんぱく質による腸内環境変動を介した加齢関連認知機能低下の予防メカニズムの解明	1,900,000
公益財団法人医食同源生薬研究財団	2023年度 研究助成	衛生・公衆衛生学講座	村上 由希	講 師	ステビア配糖体のプレバイオティクス機能の解明：腸内環境への影響と生活習慣病予防への応用	2,320,000
公益財団法人大阪ガスグループ福祉財団	大阪ガスグループ福祉財団 調査・研究助成	作業療法学科	山下 円香	助 教	テクノロジー使用困難から見る地域高齢者の生活機能と脳機能との関連調査	670,000
公益財団法人大阪コミュニティ財団	2023年度研究助成事業「医学・医療の研究、難病対策・医療患者支援」分野	外科学講座	小林 壽範	助 教	大腸直腸癌の腫瘍微小環境における浸潤突起の意義と新規治療への展開	1,000,000
公益財団法人大阪腎臓バンク	令和5年度腎疾患研究助成金	小児科学講座	山内 壮作	講 師	乳児期有熱性尿路感染症の発症リスクとしての腸内細菌叢の乱れ	300,000
公益財団法人大阪対がん協会	2023年度がん研究助成奨励金	外科学講座	張野 誉史	病院助教	食道癌オルガノイドを用いた免疫治療の効果予測と免疫応答の解明	300,000
公益財団法人大阪対がん協会	2023年度がん研究助成奨励金	精神神経科学講座	船楓 紀也	助 教	胆肝臓がんに対する高侵襲手術におけるせん妄の病態探求および新規治療法の確立	300,000
公益財団法人大阪対がん協会	2023年度がん研究助成奨励金	形成外科学講座	松岡 祐貴	助 教	眼瞼脂腺瘤における腫瘍境界の新規評価法 低侵襲かつ正確な外科的切除を目指して	300,000
公益財団法人川野小児医学奨学財団	令和5年度 第34回研究助成	小児科学講座	辻 章志	講 師	微小変化型ネフローゼ症候群モデルラットに対する球形吸着炭を使用した腸管内尿毒素物質除去による抗タンパク尿効果を期待した新規治療法の開発	3,000,000
公益財団法人川野小児医学奨学財団	令和5年度 第34回研究助成	小児科学講座	赤川友布子	研究医員	克蘭ベリーが過活動膀胱を有する小児の尿中細菌叢に及ぼす影響の検討	500,000
公益財団法人喫煙科学研究財団	令和5年度研究助成	産科学・婦人科学講座	岡田 英孝	教 授	妊娠成立に向けたヒト卵巣機能に及ぼす喫煙の影響	2,000,000
公益財団法人喫煙科学研究財団	令和5年度研究助成	精神神経科学講座	池田俊一郎	講 師	加熱式たばこにおける脳内ネットワークへの影響と r TMS治療の可能性の検証	500,000
公益財団法人喫煙科学研究財団	令和5年度研究助成	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	助 教	造血系ヒト化マウスを用いたダイオキシン類のヒト胎児・新生児造血細胞への影響の解析	500,000
公益財団法人喫煙科学研究財団	令和5年度研究助成	神経内科学講座	薬師寺祐介	教 授	健常人のアルツハイマー病発症リスクに対する脳小血管病負債と喫煙の相乗効果の検証：the Kashima scan study	1,500,000
公益財団法人高松宮妃癌研究基金	令和5年度 研究助成金	腫瘍病理学部門	川崎 善博	准教授	大腸癌におけるWnt-cMycシグナル軸を介した腫瘍増殖促進メカニズムの解析	2,000,000
公益財団法人 中部科学技術センター	令和5年度人工知能研究助成	放射線科学講座	小池 優平	助 教	AIによるCT画像を用いた転移性脊髄腫瘍の自動リスク分類システムの開発	500,000
公益財団法人内視鏡医学研究振興財団	令和5年度 内視鏡医学研究振興財団研究助成	内科学第三講座	山階 武	講 師	胃消化管間質腫瘍に対する留置スネアを用いた内視鏡的全層切除術の安全性と有用性の検討	500,000
公益財団法人ニッポンハム食の未来財団	2023年度研究助成事業 個人研究助成	小児科学講座	赤川 翔平	講 師	小児鶏卵アレルギー患者における腸内細菌叢解析を用いた耐性獲得予測	2,000,000
公益財団法人日本対がん協会	2023年度リレー・フォー・ライフ・ジャパン「プロジェクト未来」研究助成	微生物学講座	神奈木真理	客員教授	自家細胞免疫による成人T細胞白血病の治療法開発	1,000,000
公益財団法人日本対がん協会	2023年度がん検診研究助成事業	病理学講座	野田 百合	診療講師	口腔扁平上皮腫瘍性病変の表層分化機序の解明と検出キットの開発	500,000
公益財団法人日本二分脊椎・水頭症研究振興財団	2023年度 第30回研究助成	脳神経外科学講座	小森裕美子	助 教	二分脊椎の責任遺伝子の同定	700,000
公益財団法人森永奉仕会	令和4年度研究奨励金	小児科学講座	中井 陽子	助 教	腹部超音波検査を用いた食物経口負荷試験におけるアレルギー症状出現の予測	500,000
公益財団法人安田記念医学財団	令和5年度若手癌研究助成	がん生物学講座	田中 伯享	助 教	脳転移を促進するKRAS変異の分子プロファイリング	1,000,000
公益信託宮田幸比古記念ALS研究助成基金	2023年度研究助成	神経内科学講座	村上 綾	病院助教	PLA法を用いた筋委縮性側索硬化症におけるTDP-43・TREM106Bのオリゴマーの分布と臨床病理相関の解明	1,000,000
公益財団法人沖中記念成人病研究所	2023年度助成事業	神経機能部門	松田 烈士	研究員	アストロサイト振動から紐解く睡眠のメカニズム	500,000
公益財団法人武田科学振興財団	2023年度武田科学振興財団 医学系研究助成(基礎)	iPS・幹細胞再生医学講座	松岡 由和	助 教	周期的温度変化によるヒト造血幹細胞の体外増幅法の確立への助成	2,000,000
公益財団法人武田科学振興財団	2023年度武田科学振興財団 医学系研究助成(基礎)	ゲノム編集部門	徳弘 圭造	学長特命准教授	哺乳類における多精子受精阻害機構関連因子の機能解析への助成	2,000,000

(単位：円)

若手研究者特集

様々な研究活動とその成果が学内外から表彰され、躍動する本学の若手研究者たち。その活躍の一端をご紹介します。
※記事企画時点で40歳以下で、一定の研究成果を持つ研究者の先生方に取材する連載企画です。

DNA 鑑定分野において、 複雑な検査データを適切な方法で解釈するために

医学部 法医学講座 眞鍋 翔 助教

—現在の研究テーマとそのテーマに決めたきっかけを教えてください。

私の研究テーマは、DNA 鑑定における検査データの解釈についてです。犯罪捜査におけるDNA 鑑定では、事件現場のDNA が被害者や被疑者のものであるかどうか問題となります。この問題の解決のため、DNA 鑑定の専門家には、得られた検査データを適切に解釈することが求められます。しかし、現場に残されたDNA が微量であったり、複数人のDNA が混合している場合には、検査データの一部が欠落していたり、複数人に由来する情報が混在したデータが得られたりするため、その解釈を人の手で行うのは非常に困難となります。私の研究では、検査データを統計学やプログラミング技術を使って解析することで、DNA 鑑定実務における問題の解決につなげることを目標としています。

現在の研究テーマを深く追求することになったきっかけは、修士課程の大学院生のとき(平成24年)に参加した国際学会のシンポジウムです。このシンポジウムでは、微量なDNA や複数人のDNA に由来する検査データの解釈をどうすべきかがテーマでした。しかし、解決策は中々見いだせず、専門家同士で言い合いをしているような状況でした。わが国はおろか、欧米諸国でも検査データの解釈に問題を抱えていることが浮き彫りとなりました。私は当時、就職するか博士課程に進学するかを迷っておりましたが、これを機に検査データの解釈における問題を解決したいという思いが強くなり、博士課程に進学することを決断しました。

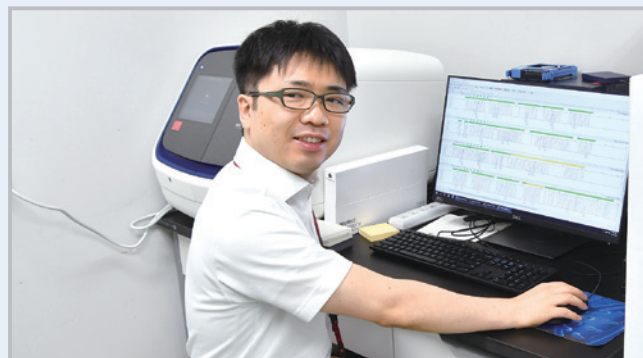
また、平成25年に発表された論文も、私にとっては大きな分岐点となりました。当時の私は、複雑な検査データの解釈にあたり、シグナル(DNA 型の情報として検出されるデータ)の有無という定性的な情報のみで何とかしようとしておりましたが、その論文では、高度な統計学的手法(具体的にはMCMC法)を用いることで、シグナルの強さという定量的な情報も扱っていました。また、論文の著者らは、その手法を取り入れた有償のソフトウェアも開発していました。複雑な検査データを解釈するには、統計学とプログラミング技術が必要不可欠だと感じた瞬間でした。早速、統計学的手法の勉強とソフトウェア開発にとりかかり、平成29年に初期バージョンを発表することができました。

その後、開発したソフトウェアは継続的にアップデートしています。また、最近では人工知能(AI)に着目し、AIに検査の過程で生じる人工的な副産物を処理させたり、何人のDNA が混在しているかを推定させたりする研究を行っています。

—研究の目標としていることや将来展望を教えてください。

わが国のDNA 鑑定分野において、検査データの解釈は諸外国と比べて非常に遅れています。犯罪捜査のためのDNA 鑑定は、主に各都道府県警察の科学捜査研究所で実施されていますが、微量なDNA や複数人のDNA に由来する複雑な検査データは十分に解釈されていないのが現状です。検査データを解釈できないと、犯罪立証のための証拠の1つとして採用されないため、犯罪の見逃しが非常に多いのではないかと懸念を抱いています。

私の最大の目標は、わが国のDNA 鑑定分野において、複雑な



検査データを適切な方法で解釈されるようにすることです。研究を行う際には、常にそれを念頭に置いており、研究テーマも実務のニーズを考慮して選ぶようにしています。研究活動を通して、わが国のDNA 鑑定分野の発展に貢献できればと考えております。

—研究への思いや後輩へのメッセージをお願いします。

研究者の努めは、研究成果を社会に還元することだと考えています。私は幸い、法医学という実務と隣り合わせの環境で研究しているので、研究成果を直接社会に還元しやすいです。研究成果の1つであるソフトウェアが実際の鑑定で使われた際には、喜びと共にやりがいを感じました。最近では、警察の捜査員や検事の方々から、私個人宛に検査データの解釈にかかる鑑定を依頼していただけるようになり、実務に携われる充実感が得られるようになりました。ただ残念なことに、法医学はもとよりDNA 鑑定の研究者は非常に少ないのが現状です。社会のニーズが高く、やりがいを感じやすい分野なので、少しでも興味のある方はDNA 鑑定の研究・実務に取り組んでいただけたら幸いです。

【略歴】

平成23年3月 京都大学医学部保健学科 卒業
平成25年3月 京都大学大学院医学研究科修士課程 修了
平成30年3月 京都大学大学院医学研究科博士後期課程 修了
令和 2年7月～ 関西医科大学法医学講座 助教

【受賞歴】

第99次日本法医学会学術全国集会 Student Poster Forum 優秀賞

【競争的研究費採択歴】

- 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究
人工知能による遺留DNAの由来となる個人のデータベース探索法の開発
4,680,000円 研究機関: 令和5年度～令和7年度
研究代表者: 眞鍋 翔
- 厚生労働科学研究費
戦没者遺骨の身元特定に係るDNA鑑定の精度向上に関する研究
59,479,000円 研究機関: 令和3年度～令和5年度
研究分担者: 眞鍋 翔(研究代表者: 橋谷田真樹)
- 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究
DNA鑑定実務に資する人工知能によるアーチファクト自動判定ツールの開発
4,160,000円 研究機関: 令和2年度～令和4年度
研究代表者: 眞鍋 翔
- 日本学術振興会 科学研究費助成事業 特別研究員奨励費
究極的DNA鑑定である微量混合試料分析法の開発と評価
1,900,000円 研究機関: 平成26年度～平成27年度
研究代表者: 眞鍋 翔

集中治療、集中治療室運営をより適切に行うために

医学部 麻醉科学講座 西本 浩太 助教

—研究テーマとそのテーマに決めたきっかけ、研究内容について教えてください。

平成27年に麻醉科学講座へ入局以降、手術室における麻醉管理や、総合集中治療部(GICU)における術後管理、重症患者の加療に従事しております。そのなかで、双方の場面で敗血症を発症している方と接する機会が増えるにあたり、その発現機構に興味を持ったことが、研究への最初のきっかけでした。機会に恵まれ科研費を取得することができ、病態の解明に携わることで、理解が深まるとともに研究への興味が増した気がします。

その後、令和2年に社会人大学院へ入学いたしました。当初から臨床研究を行いたいと考えており、遂行するためには臨床を継続しながらの大学院生活が最適だと思い、この道を選択いたしました。臨床と研究の両立のなかで、どちらもおろそかにしまいと決心しながら日々を過ごしましたが、指導医の先生をはじめとした医局の皆様(研究のため、附属病院と総合医療センターの2病院で勤務できるようご配慮いただきました)や、家族の協力・支援を仰ぎながら、なんとか結果が出て修了できたことに、今でも皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

大学院では、人工呼吸器を必要とする敗血症の方の最適な呼吸器設定に関する研究から始めました。数年にわたるGICU入室患者を洗い出し、抽出したうえで、種々の項目を設定しながらデータの解析を行いました。同時並行で医療統計を学ぶことで、適切に分析を選択するよう努めました。一定のペースで様々な論文を読み、知識や現在の潮流を学ぶことも継続しました。その後は、敗血症治療に対する治療のひとつである免疫グロブリン療法の投与量や投与方法の検討、投与後の採血データの推移の検討、また、別項目として厚生労働省の大規模データベースを扱った研究も進めております。

—研究の今後の展望について教えてください。

適切な集中治療室運営に関する研究、集中治療室入室時の様々なデータや身体所見から予後を予測する研究、その加療を検討・吟味する研究などを続けていきたいと考えております。その中で現在は、心臓から分泌されるホルモンの一種(NT-proBNPなど)の採血データと、将来的な腎機能の悪化、治療の違い、集中治療室入室期間などの転帰の関係性を見つける取り組みを行っています。

こちらの誌面で紹介されている先生方とはやや毛色が違いますが、臨床の場面に活かせる結果を生み出せるよう、臨床の合間に取り組んでいる次第です。

—研究への想い、メッセージを教えてください。

麻醉科の業務のひとつである手術室や集中治療室は、その性



質上、様々な背景や疾患の方々を日々診察させていただいております。研究においても、多項目のデータを皆様のご協力のもと比較的容易に取得することができ、横断的な研究も比較的たやすく行うことができる環境は幸運であったと、いま改めて思います。私自身は、多職種の方々や他科の先生方と会話・ディスカッションを行うのが好きなほうなので、何気ない会話のなかにも興味の対象、ひいては研究のきっかけがあるかも知れないと思いながら、適度にアンテナを張り巡らせています。

様々なきっかけから始まった研究や大学院生活でしたが、論文を読んだり統計手法を学んだりするなかで1つのことを深く突き詰める習慣が身についたように思います。翻って、臨床研究を行ったことで、多角的に物事をとらえるとともに、様々な角度から思考を行うことは、現在の臨床に活かしているように感じる毎日です。

研究は、臨床だけでは得られないスキルや知識を体得できるとともに、その経験を臨床に還元することで相乗効果が得られると思います。ぜひとも疑問に思ったことや深く知りたいと思った事象に興味をもって目を向けて、掘り下げていくなかで研究を上手に使っていただきたいと、僣越ながらに思っております。無理せず、一緒に頑張っていきましょう。

【略歴】

平成27年 関西医科大学麻醉科学講座 入局
平成28年 大和高田市立病院 麻酔科
平成29年 関西医科大学附属病院 麻酔科(手術室)
平成30年 関西医科大学附属病院 麻酔科(総合集中治療部)
令和 3年 関西医科大学総合医療センター 麻酔科
令和 4年 関西医科大学附属病院 麻酔科(手術室)
(関西医科大学総合医療センター麻酔科、
関西医科大学附属病院総合集中治療部 兼務)

【受賞、科研費】

・日本学術振興会 科学研究費 若手研究
「microRNAによる骨髄由来抑制細胞の制御が及ぼす敗血症時免疫抑制病態の解明」
416万円 平成30—平成31年度 代表者：西本浩太
・日本呼吸療法学会学術集会 優秀演題賞 令和5年

附属病院

「hinotori」導入で手術支援ロボット3台体制に

附属病院では、平成25年に初めて手術支援ロボットを導入、平成30年にロボット支援手術センターを設置するなどして、ロボット支援手術に積極的に取り組んできました。令和5年度に文部科学省による「高度医療人材養成事業」（教育環境整備）に採択されました。これにより、令和6年4月には、既存の「ダヴィンチ」に加え、「hinotori」が新たに導入され、手術支援ロボット3台を備える体制になりました。さらに、整形外科には脊椎手術支援ロボットに加えて膝関節支援ロボットを導入しています。

ロボット支援手術は、従来の前立腺がん手術、腎がん手術に加え、食道手術や大腸手術、肝臓手術にも適応が拡大されています。ロボット支援手術は患者さんにとっては低侵襲で負担が少なく、医師にとってはより精緻な手術を容易に行えるという特徴があります。今後も本学附属医療機関では手術支援ロボットの導入に積極的に取り組んでいきます。



導入された「hinotori」

総合医療センター

がん教育講演会

6月12日(水) 14時30分から門真市内の中学校において、総合医療センター看護部大橋理紗看護師(がん看護専門看護師)による生徒約300人を対象としたがんについての出張講演が行われました。これは大阪府が進める学校教育でのがん啓発活動の一環としての取り組みで、がんに関する知見の社会還元を目的としたものです。

講演では、現在の日本におけるがんの状況・要因や緩和ケアなどについてわかりやすく解説。講演終了後には、生徒代表から「講演を聞く前は、がんは怖い病気だと思っていましたが、医学の進歩により治る病気だとわかってよかったです。」といった感想が大橋看護師に寄せられました。



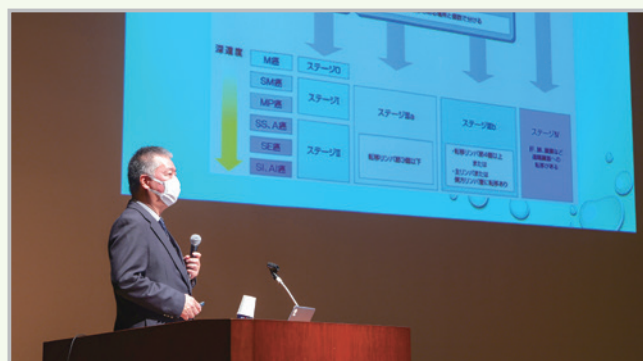
講演を行う大橋看護師

香里病院

春の市民公開講座

5月18日(土) 13時50分から、アルカスホール(寝屋川市立地域交流センター)(寝屋川市)において春の市民公開講座が開催され、市民ら154名が参加しました。この日は「がんとの生き方」をテーマに4つの講演が行われました。

岡崎和一病院長の挨拶の後、外科吉田良部長が「高齢者疾患の手術治療」を講演。続いて乳腺センター綿谷正弘センター長が「今日から実践ー乳房を意識した生活」を、腎泌尿器外科島田誠治医長が「前立腺がんのお話ー診断から治療までー」を、最後に関医デイケアセンター・香里久保田良理学療法士が「がんと運動」を講演し、盛況のうちに閉会しました。



講演を行う吉田部長

病

院

大阪府知事から新型コロナウイルス感染症対応に対する感謝状贈呈

6月、新型コロナウイルス感染症対応の最前線で医療の提供に尽力した医療機関に対し、大阪府吉村洋文知事から感謝状が贈呈されました。本学では附属病院、総合医療センター、香里病院、くずは病院にそれぞれ感謝状が贈られました。

令和7年度採用専門研修プログラム説明会

5月18日(土) 14時から、附属病院13階合同カンファレンスルームにおいて、令和7年度採用専門研修プログラム説明会が開催されました。

説明会では、卒後臨床研修センター伊藤量基センター長による新専門医制度の概要と現況説明の後、本学の研修医59名、他病院研修中の研修医10名の計69名が18ブースに分かれて各科のプログラムについて質問し、専門研修への理解を深めました。

その後、臨床研修説明会との合同情報交換会が開催され、大盛況のうちに説明会は終了しました。



各科で理解を深める研修医

令和7年度採用医学生対象説明会「研修医と語ろう会」

5月18日(土) 14時30分から、附属病院13階講堂において、令和7年度採用研修医を対象とした臨床研修説明会「研修医と語ろう会」が開催されました。

今年度も対面とオンライン併用のハイブリッド形式で、対面36名、オンライン14名の計50名が参加しました。

説明会では、卒後臨床研修センター伊藤量基センター長による臨床研修概要説明の後、研修医4名から研修内容や生活について説明が行われました。

その後、専門研修プログラム説明会との合同情報交換会が開催され、大盛況のうちに説明会は終了しました。



現役研修医による説明

レジナビフェア2024大阪～臨床・専門研修プログラム～出展

5月26日(日) 11時からインテックス大阪1・2号館(大阪市住之江区)において、「レジナビフェア2024大阪～臨床・専門研修プログラム～」が対面形式で開催され、医学生向けの臨床研修プログラムには研修医7名が、研修医向けの専門研修プログラムには、外科、産婦人科、救急医学科、麻酔科が参加して出展しました。

本学の臨床研修ブースには医学生161名、専門研修ブースには研修医11名および医学生30名が訪れました。訪れた参加者に対して、本学所属研修医・医師は臨床研修プログラムおよび専門研修プログラムについて熱心に説明を行いました。



説明を聞く参加者



関医・看護師リカレントスクール修了生の集い

6月29日(土) 10時から枚方キャンパス医学部棟4階中会議室において、関医・看護師リカレントスクール修了生の集いが開催されました。2回目となった今回は、17名が参加。関医・看護師リカレントスクール金子一成スクール長(医学部小児科学講座教授)による開会挨拶の後、看護キャリア開発センター看護師就業・復職支援部門瀬戸奈津子部門長(看護学部慢性疾患看護学領域教授)の講演が行われました。交流会では自身の近況報告に加えて復職のハードルを乗り越えた数々の体験が述べられ、お互いを激励する様子が見られました。最後に安田照美統括看護部長の閉会挨拶で締めくくられ、同期生の

みならず、修了生全体で交流が深まる催しとなりました。



交流する修了生ら



病 院 (お知らせ)

附属病院、総合医療センター、香里病院で Web からの予約変更を開始

附属病院では1月から、総合医療センターと香里病院では5月から「やくばと病院予約」を用いて Web での予約変更ができるようになりました。

これにより、電話が混雑して繋がりにくい場合や予約センターの業務時間外でも予約変更の申し込みができるようになり、患者さんの利便性向上につながります。



お知らせ

看護師のための復職支援

関医・看護師リカレントスクール 第8期生募集!!

10月2日(水)～12月4日(水)

募集対象 ▶ 復職を目指す離職中の看護師

定 員 ▶ 10名程度 **受講料** ▶ 8,000円(実費相当)

- ◆ 講義はリモート! e-ラーニングによる多様な学習を自宅で
- ◆ 最新の知識と技術の習得
- ◆ 希望者には就職支援

関西医科大学 看護キャリア開発センター
TEL 072-804-2849



応募フォーム





学会主催報告

令和6年3月～6月、本学が主催および事務局を務めた主な学会を紹介します。

第4回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会(JIAIO)総会・学術講演会

■会 期 令和6年4月11日(木)～13日(土) ■場 所 枚方市総合文化芸術センター
■テーマ 伸びる 広がる 躍動する！ Expand your JIAIO!

本学会は様々な学会・研究会を吸収・合併して4年前にスタートしました。日本人の半分が罹患するアレルギー性鼻炎に加え、好酸球性副鼻腔炎、Covid19、腫瘍免疫、光免疫、舌下免疫、免疫老化などの重要な内容を扱います。今回は当学医学部として初めて、枚方市総合文化芸術センターにて学会を主催し好評を博し、学会参加者数も昨年の約1.5倍となりました。お世話になりました関係各位に深く感謝申し上げます。

【会長：医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 岩井 大 教授】

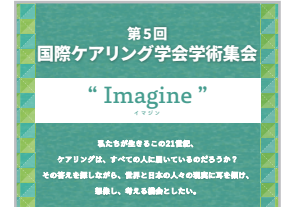


The fifth research conference of the International Society of Caring & Peace 第5回国際ケアリング学会学術集会

■会 期 令和6年3月1日(金)～31日(日) ■場 所 オンデマンド開催
■テーマ “Imagine”

主催した国際ケアリング学会の「ケアリングの国際的な学術交流の促進を通して、世界の人々の健康と安寧および世界平和に貢献する」にヒントを得て、第5回学術集会では“Imagine”をテーマとし、私たちが生きるこの21世紀、看護は、ケアリングは、すべての人に届いているのかについて、英語の講演とポスター発表を行いました。オンデマンドによる1か月間の開催でしたが、多くの方にご参加いただくことができました。

【学術集会長：看護学部国際看護学領域 近藤 麻理 教授】



第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会

■会 期 令和6年6月22日(土)、6月23日(日) オンデマンド配信期間 7/8(月)～8/31(土)
■場 所 沖縄コンベンションセンター・ラグナガーデンホテル
■テーマ クリティカルケアのこれまでとこれから ～person centered careの実装と探求～

記念すべき第20回を迎えた本学術集会では、「病を持つ人」や「病を持つ人と生きる家族」といったpersonに焦点をあて、重症化の回避、早期回復の援助、苦痛の緩和、希望や尊厳の保持を軸にエビデンスに基づくケアの実装、ケアエビデンスの探求について臨床実践者と研究者で熱い議論を交わしました。また、当日は沖縄県の「慰霊の日」であり、参加者全員が心をひとつにして平和への黙祷を捧げました。多くの現地参加があり盛会に終えています。

【学術集集会長：看護学部クリティカルケア看護学領域 宇都宮 明美 教授】



第36回日本ハンドセラピー学会学術集会

■会 期 令和6年4月27日(土)～28日(日) ■場 所 奈良県コンベンションセンター
■テーマ 知行合一～Science and Skill to Smile～

日本ハンドセラピー学会は手外科領域のリハビリテーションを専門とする学会です。学術集会の会長を拝命し、この専門領域で知識と技術をどのように融合していくかを主題とする学会を主催しました。手と脳、バイオメカニクス、生活を柱にプログラムを構成しました。中でも手のバイオメカニクスの世界的権威であるMayo Clinicの名誉教授にもご登壇いただき、これまでで最大人数の参加者に参加していただきました。

【会長：リハビリテーション学部作業療法学科 蓬萊谷 耕士 助教】



学会賞等受賞情報

令和6年4月～6月の学会賞受賞者等を紹介します。

Top Cited Article 2022-2023

医学部胆膵外科学講座 里井 壮平 教授

■テ ー マ New criteria of resectability for pancreatic cancer:
A position paper by the Japanese Society of
Hepato-Biliary-Pancreatic Surgery (JSHBPS)
■授与団体 JOURNAL OF HEPATO-BILIARY-PANCREATIC SCIENCES



Young Researcher賞

医学部精神神経科学講座 緒方 治彦 助教

■テ ー マ Relationship between circulating mitochondrial
DNA and microRNA in patients with major
depression
■授与団体 第34回日本臨床精神神経薬理学会



PCN Reviewer Awards

医学部精神神経科学講座 嶽北 佳輝 診療教授

■受賞理由 PCN誌の査読に尽力し、その発展に著しく貢献
したため
■授与団体 第120回 日本精神神経学会学術総会



Best Poster Presentation Award

医学部胆膵外科学講座 宮崎 秀高 助教

■テ ー マ Examination of Portal Vein Stenosis And Its
Impact after Pancreaticoduodenectomy And
Distal Pancreatectomy with Portal Vein Resection
for Pancreatic Ductal Adenocarcinoma.
■授与団体 HBP Surgery Week2024



PCN Reports Reviewer Awards

医学部精神神経科学講座 嶽北 佳輝 診療教授

■受賞理由 PCN Reports誌の査読に尽力し、その発展に著しく貢献したため
■授与団体 第120回 日本精神神経学会学術総会

Top Cited Article 2022-2023

医学部肝臓外科学講座 小坂 久 講師

■テ ー マ Tumor budding may be a promising prognostic
indicator in intrahepatic cholangiocarcinoma:
A multicenter retrospective study
■授与団体 The Japanese Society of Gastroenterological Surgery



優秀演題賞

医学部小児科学講座 岡野 舞 大学院生

■テ ー マ 先天性尿素サイクル異常症の病態肝モデルとし
てのシトリン欠損患者由来人工多能性幹細胞
■授与団体 第23回日本再生医療学会総会



学術展示優秀賞

医学部眼科学講座 横田 開人 大学院生

■テ ー マ OIRマウスに見る血管形態とアストロサイトの相
互作用
■授与団体 第128回日本眼科学会総会



最優秀演題

医学部心療内科科学講座 秋山 泰士 助教

■テ ー マ がん患者における機能的な身体症候群の疫学的
調査とストレス関与の検討
■授与団体 第29回日本緩和医療学会学術大会 第37回日
本サイコオンコロジー学会総会 合同学術大会



教職員メディア情報

新聞・雑誌などの取材を受け記事が掲載された、あるいはテレビ・ラジオなどに出演した教職員ほかを紹介します。
(主に令和6年4月1日～6月30日 ※判明分のみ)

■ テレビ等

医学部内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	関西テレビ 「旬感LIVEとれたて！」 (4月9日)	宮下診療教授がスタジオ出演し、中国で流行している百日咳の主な症状のほか、日本での流行する可能性が高いことや抗体を持たない乳児への感染の危険性、予防方法を解説しました。
医学部救急医学講座 奥野 奈央 助教	朝日放送テレビ 「newsおかえり」 (4月17日)	奥野助教に密着取材があり、医師の働き方改革によってチーム制が導入されるなど環境が変わる中、救命救急医として奮闘する模様や自分の時間ができてやりたい勉強ができるとのコメントが放映されました。
医学部iPS・幹細胞応用医学講座 六車 恵子 教授	日本テレビ 「カズレーザーと学ぶ」 (5月7日)	六車教授がスタジオ出演し、iPS細胞などの多能性幹細胞によって作られる脳オルガノイドについて、治療への有用性や再生医療の展望を解説しました。
光免疫医学研究所 小林 久隆 所長	TOKYO FM 「ラジオのタマカワ」 (5月23日)	小林所長が出演し、光免疫療法の仕組みや効果について解説するとともに新規薬剤の開発状況や今後の適応拡大について語り、リスナーからの質問にも回答しました。

■ WEBメディア等

附属健康科学センター 木村 穰 理事長特命教授	AERA.dot (4月3日)	日本初となる内臓脂肪を減らす薬「アライ」について、木村理事長特命教授による服用を考える人への注意点などに関するコメントが掲載されました。
附属生命医学研究所がん生物学部門 坂本 毅治 学長特命教授	QLifePro (4月18日)	坂本学長特命教授らの研究チームが、早期大腸がんにおけるがんと腺腫の境界部から生じる腫瘍細胞の増殖と免疫寛容に関与する仕組みを新たに明らかにした旨が、掲載されました。
医学部iPS・幹細胞応用医学講座 六車 恵子 教授	日経バイオテック (4月23日)	六車教授らの共同研究グループが、患者由来のiPS細胞を用いた解析によって、光刺激による視細胞の細胞死がEYS関連網膜変性疾患の病態に重要な役割を果たしていることを発見した旨が、掲載されました。
医学部肝臓外科学講座 海堀 昌樹 教授 医学部乳癌外科学講座 石塚 まりこ 助教	日経バイオテック (5月7日)	海堀教授と石塚助教らが、千葉大学との共同研究において、乳がんに対する新規薬剤を用いた光線力学療法を開発した旨が、掲載されました。
光免疫医学研究所 小林 久隆 所長	Yahoo!ニュース (5月24日)	小林所長が開発した光免疫療法について、そのメカニズムや開発に至るまでの経緯、治療の現状や将来の展望までにわたる、小林所長への詳細なインタビュー記事が掲載されました。
医学部iPS・幹細胞再生医学講座 服部 文幸 研究教授	QLifePro (5月28日)	服部研究教授らの研究グループが、ヒトiPS細胞から、爪成分を作る機能を持った爪幹細胞、およびこれを含む「指先オルガノイド」の作製に成功した旨が、掲載されました。
光免疫医学研究所 小林 久隆 所長	Yahoo!ニュース (6月5日)	小林所長が光免疫療法の開発に至った経緯について、背景となった臨床現場や高校時代などでの経験に触れながら語った内容が掲載されました。
医学部小児科学講座 石崎 優子 診療教授	リビング大阪・北摂・兵庫 (6月6日)	起立性調節障害についての記事で、石崎診療教授が疾患の特徴や原因、改善方法を解説した他、進学先選択に関する医師視点のアドバイスが掲載されました。
看護学部 三木 明子 教授	読売新聞オンライン (6月7日)	新潟県病院局が患者・家族らによる理不尽な言動から病院職員を守るために「ベシエントハラスメント対応策指針」を策定したことについて、三木教授のコメントが掲載されました。
医学部内科学第二講座 入江 潤一郎 診療教授	共同通信 (6月7日)	入江診療教授らによるヒト対象研究において、株式会社明治が保有する独自の乳酸菌を含む発酵乳に糖尿病予備群の成人の血糖コントロールを改善する効果が確認された旨が、掲載されました。
附属病院 松田 公志 病院長	メディカルノート (6月10日)	特定機能病院として先進的ながん治療や患者さんに負担の少ない治療に取り組む本学附属病院の地域での役割や今後について、松田病院長のインタビュー記事が掲載されました。
医学部乳癌外科学講座 木川 雄一郎 講師	オンコロ (6月13日)	木川講師らによるエンハーツによる治療中の転移性乳がん患者に対する多施設共同無作為比較探索研究結果が発表されたことが、掲載されました。
医学部iPS・幹細胞再生医学講座 藤岡 龍哉 准教授	読売新聞オンライン (6月17日)	京都大学からのチームによって開発されたiPS細胞から血液成分である「血小板」を製造する装置を大容量化する技術について、藤岡准教授のコメントが掲載されました。

■ 新聞・雑誌等

医学部小児科学講座 赤川 翔平 講師	日本食糧新聞 (4月8日)	赤川講師らが、帝人株式会社および株式会社フランソアと共同で、機能性大寒継続摂取による小児の食物アレルギーへの影響の検証試験を開始する旨が、掲載されました。
医学部iPS・幹細胞応用医学講座 六車 恵子 教授	日刊工業新聞 (4月23日)	六車教授らの共同研究グループが、患者由来のヒトiPS細胞を用いた解析を行い、視細胞の細胞死が光刺激で誘導され、EYS関連網膜変性疾患の病態に重要な役割を果たすことを発見した旨が、掲載されました。
医学部腎泌尿器外科学講座 木下 秀文 教授	読売新聞 夕刊 (4月24日)	白血球による尿路結石分解の様子をiPS細胞で再現することに成功した名古屋市立大学の研究について、今後の展望を述べた木下教授のコメントが掲載されました。
医学部内科学第一講座 宮下 修行 診療教授	サンデー毎日 2024年5月19・26日合併号 (5月7日)	高齢者が亡くなる原因の上位を占める肺炎について特集した記事で、罹患した際の症状や予防法などについて詳しく解説した内容が掲載されました。
医学部小児科学講座 石崎 優子 診療教授	読売新聞 夕刊 (5月14日)	石崎診療教授が取材協力し、令和5年12月9日(土)に東京本社版に掲載された、決められた容量を超えて薬を摂取するオーバードーズの実態や危険性を解説した記事が大阪本社版にも掲載されました。
光免疫医学研究所 小林 久隆 所長	週刊エコノミスト 2024年5月28日号 (5月20日)	光免疫療法を取り上げた記事で、小林所長による治療実績や今後の課題に関するコメントが掲載されました。
光免疫医学研究所 小林 久隆 所長	女性自身 2024年6月4日号 (5月21日)	最新のがん治療を取り上げた記事で光免疫療法が取り上げられ、小林所長による治療法の解説が掲載されました。
医学部小児科学講座 金子 一成 教授	読売新聞 朝刊 (6月14日)	京都大学の教授らの研究により明らかにされた生後の食生活による「腸内細菌叢」の構成バランスと感情制御力との関連性について、金子教授のコメントが掲載されました。
関西医科大学	日本食糧新聞 (6月14日)	株式会社明治が保有する独自の乳酸菌の長期摂取による2型糖尿病の発症リスク低減の可能性について、本学とのヒト対象研究でその再現性が確認された旨が、掲載されました。
関西医科大学	毎日新聞 朝刊 (6月26日)	企画特集「大学受験NOW」内の記事で本学の取り組みが取り上げられ、自治体と連携しての地域枠設置や医学部の学費引き下げについて掲載されました。
看護学部 三木 明子 教授	読売新聞 夕刊 (6月26日)	高齢者らの自宅を訪れる介護職員や看護師が利用者・家族から性的な嫌がらせや暴力などをうける在宅ハラスメントの対策について、三木教授のコメントが掲載されました。

※このコーナーは主要な放送局、新聞、雑誌の掲載情報が対象ですが、研究成果に関する記事は、その限りではありません。

編集後記

前号で桜の話をしたと思っていたら、梅雨時とは思えない暑さに熱中症対策が欠かせない時期へと、あっという間に季節が移り変わってきました。

既に40℃を超える地点が出てきており、このままでは真夏はどうなるのか不安にならざるを得ません。一方で、各地のお祭りや花火大会も戻ってきました。命と文化を大切に、この夏を過ごせればと思います。(M)

関西医科大学広報 Vol.66

発行 学校法人 関西医科大学
編集 広報戦略室
〒573-1010 大阪府枚方市新町2-5-1 TEL 072-804-0101(代表)
FAX 072-804-2638

<https://www.kmu.ac.jp/>
E-mail:kmuinfo@hirakata.kmu.ac.jp

令和6年8月19日(月)発行